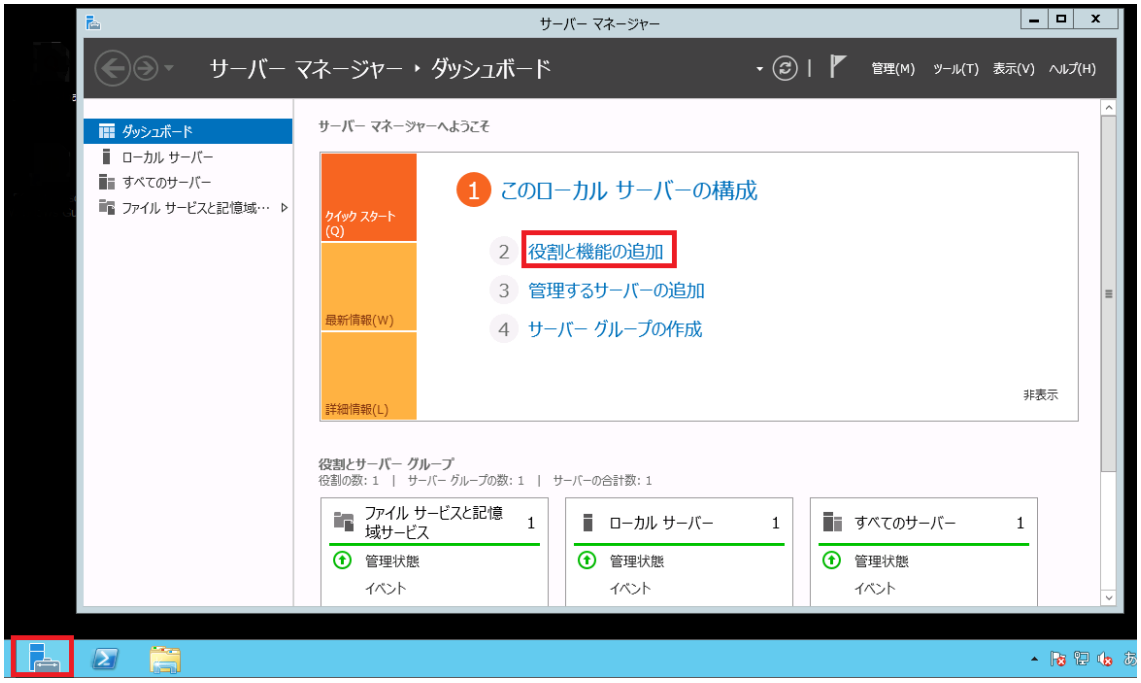
Cloud Gate SSO
Active Directory設定手順書
(Windows Server 2012 Standard Edition)

.

1.Active Directory 証明局のインストール

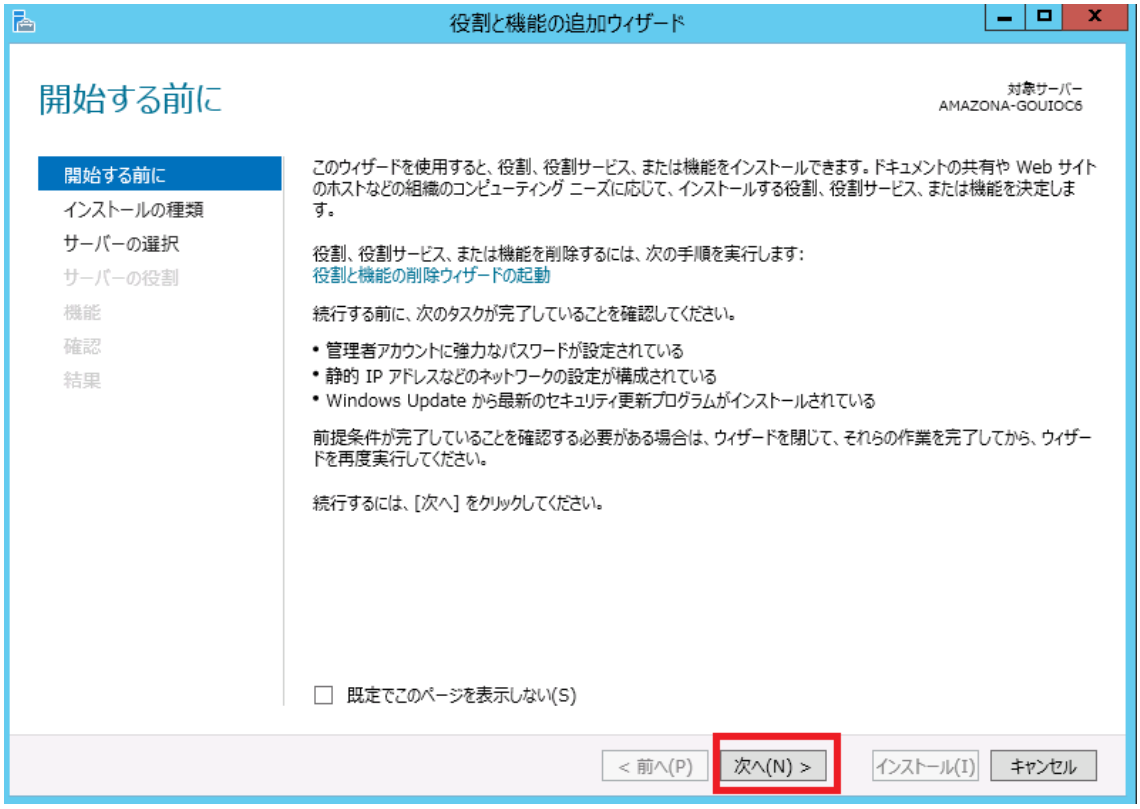
※既にインストールされている場合はこの手順は不要です。

※Windows Server のインストールディスクが求められる場合があります。

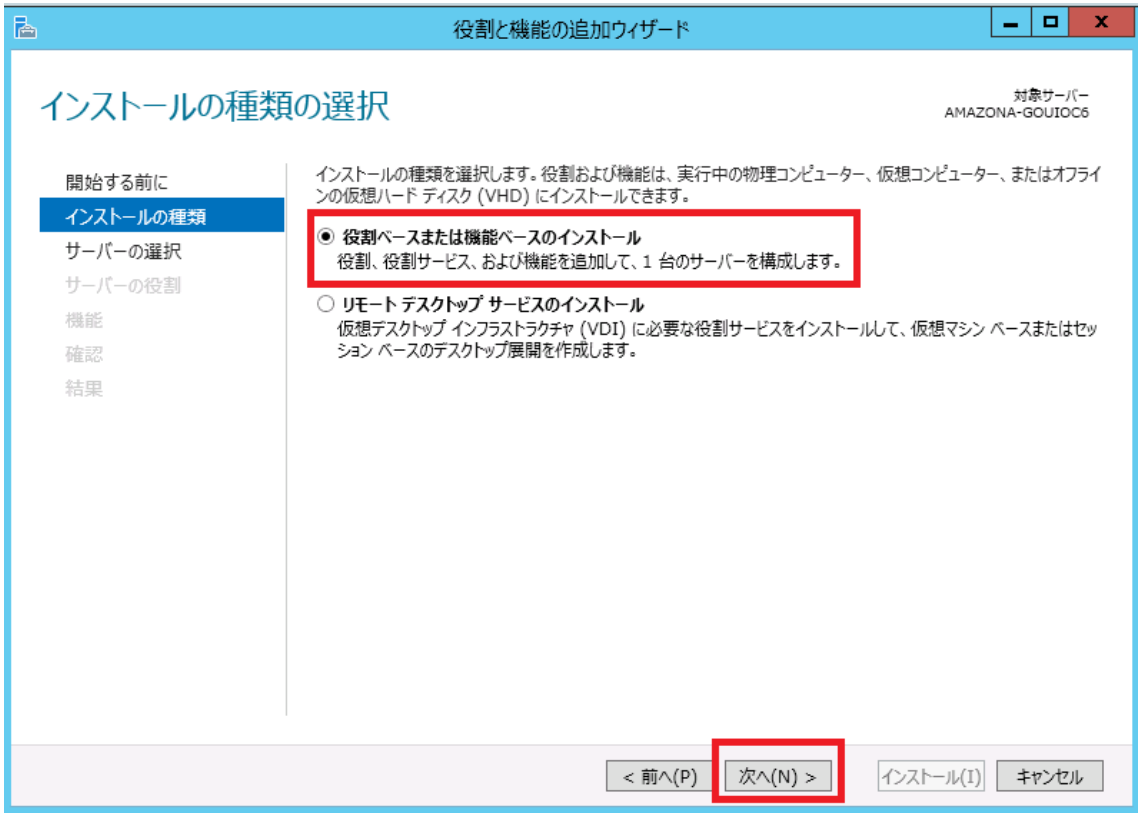


左下「サーバーマネージャーボタン」をクリックして起動します。

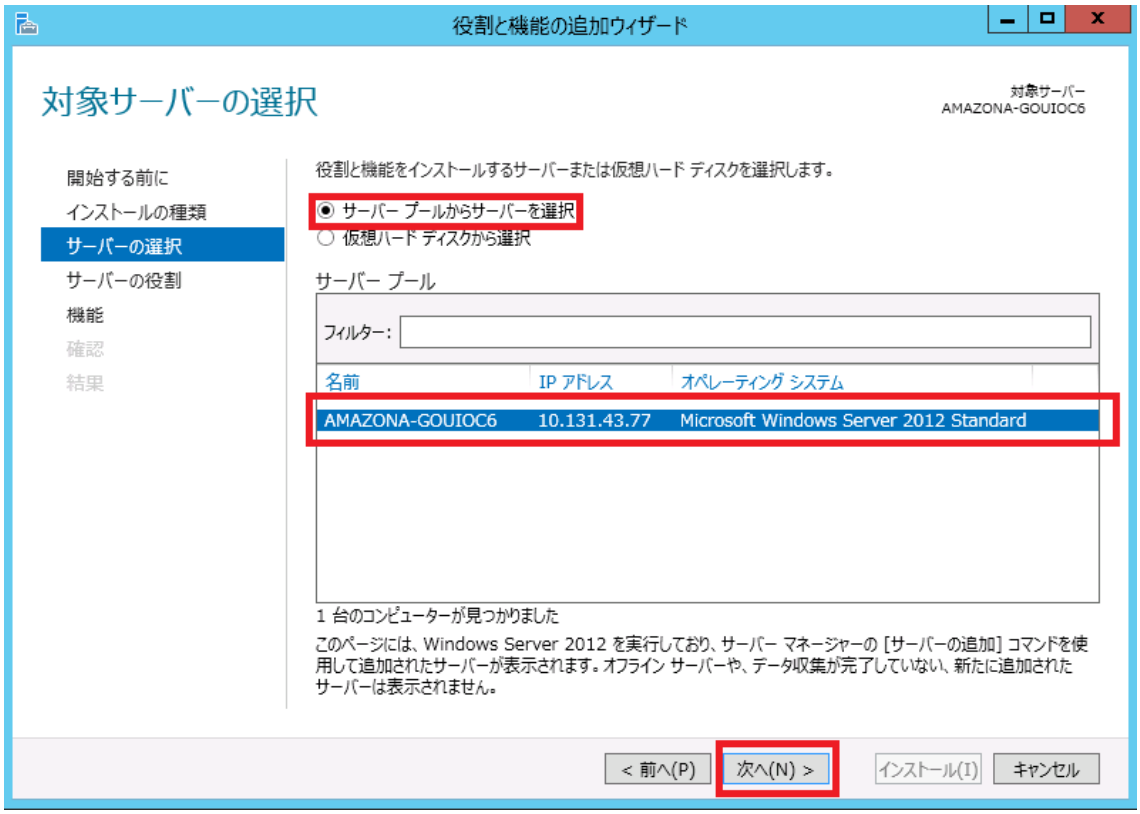
その後「役割と機能の追加」をクリックします。



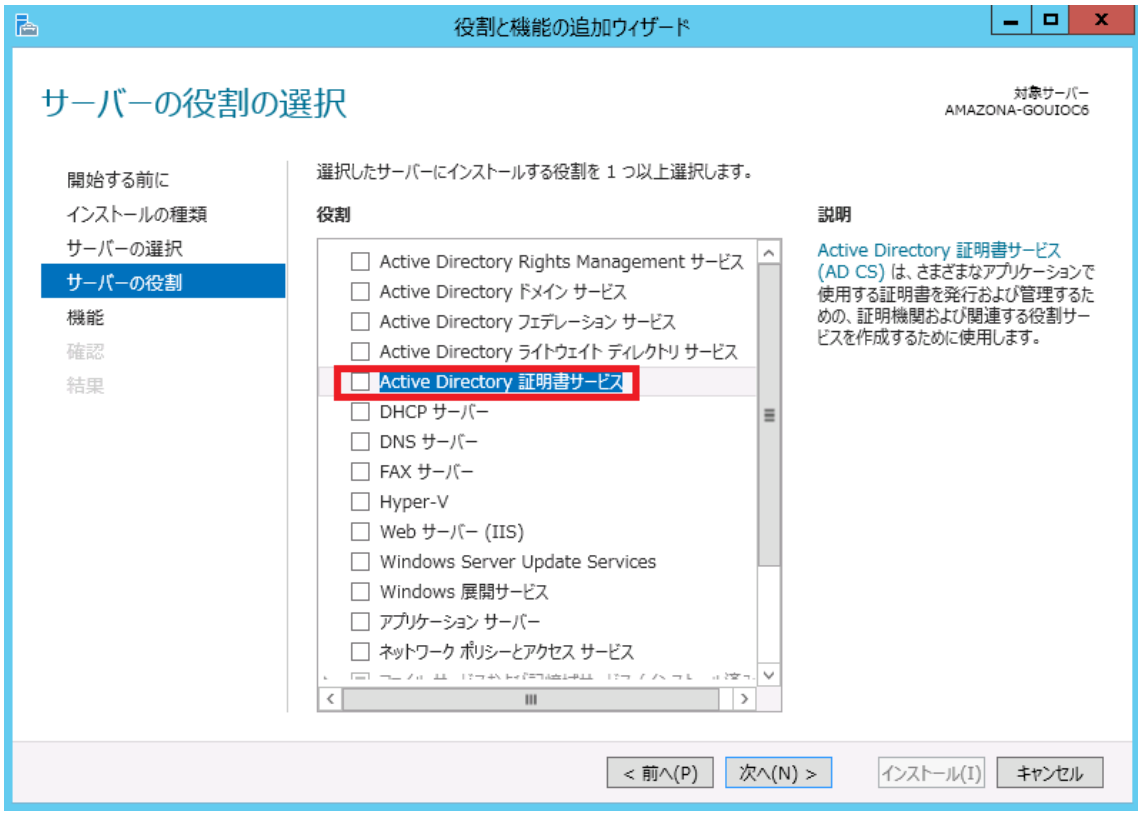
「次へ」をクリックします。



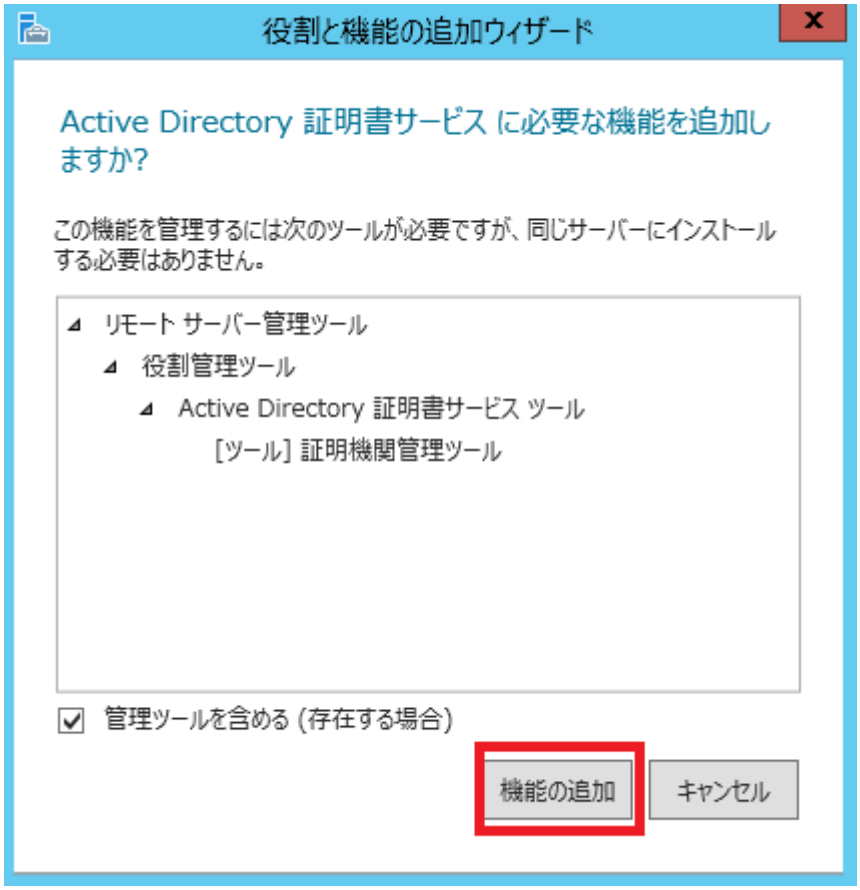
「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択し「次へ」をクリックします。



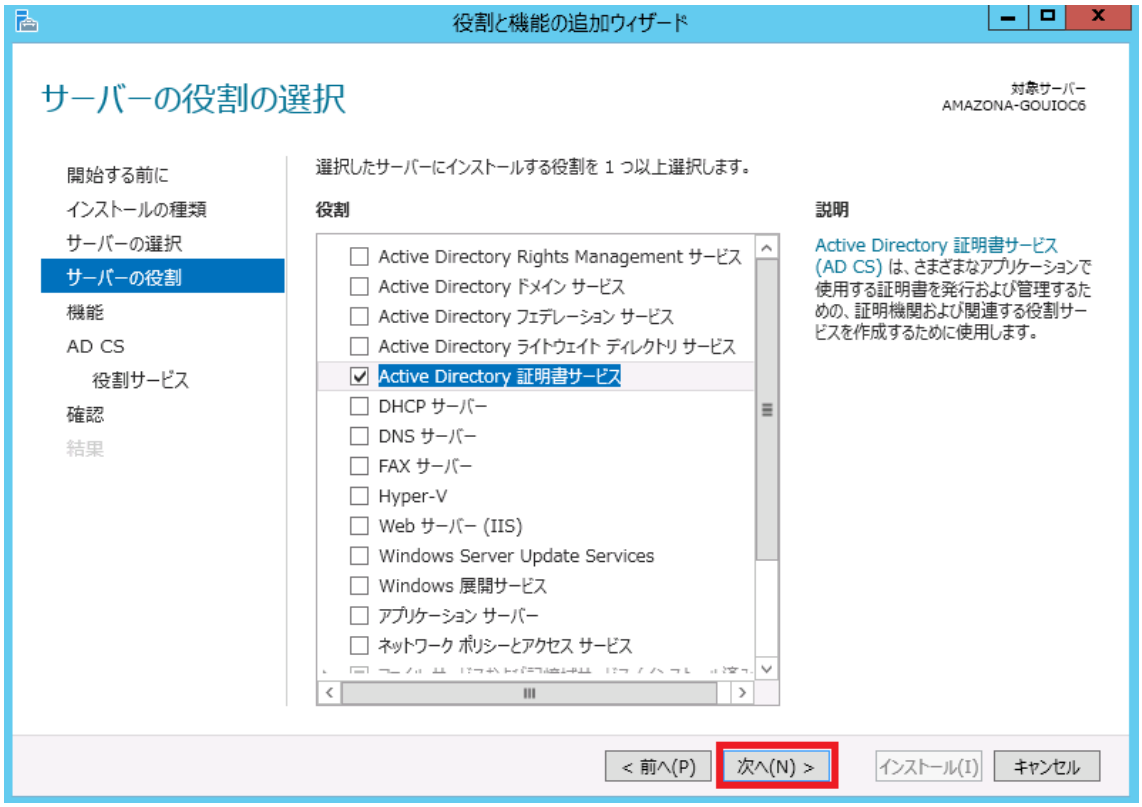
「サーバープールからサーバーを選択」後、該当のサーバーを選択し「次へ」をクリックします。



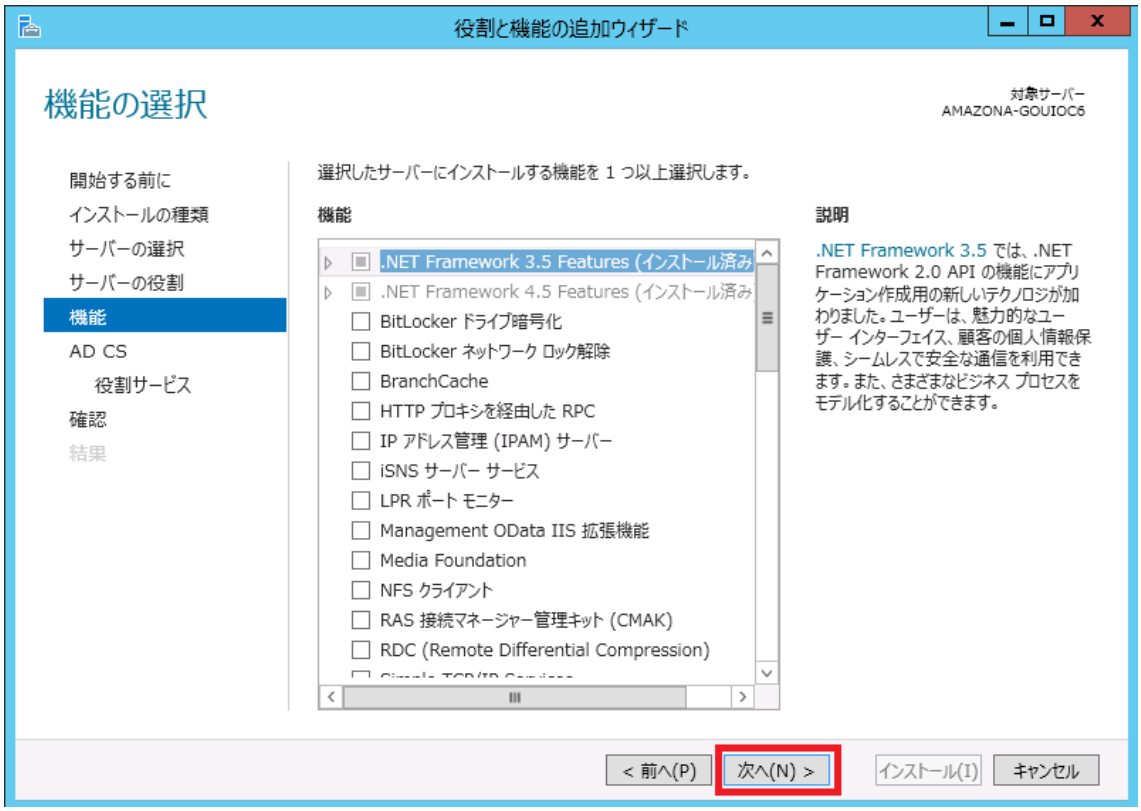
「Active Directory 証明書サービス」を選択します。



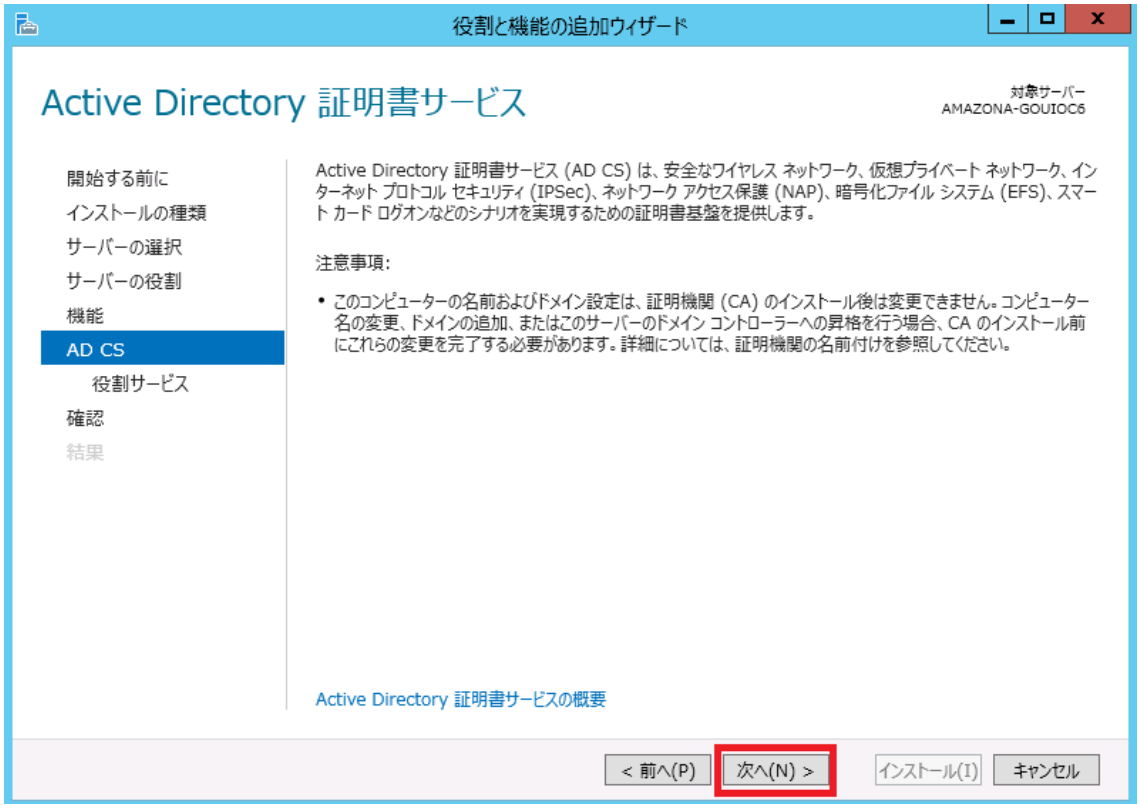
「機能の追加」をクリックします。



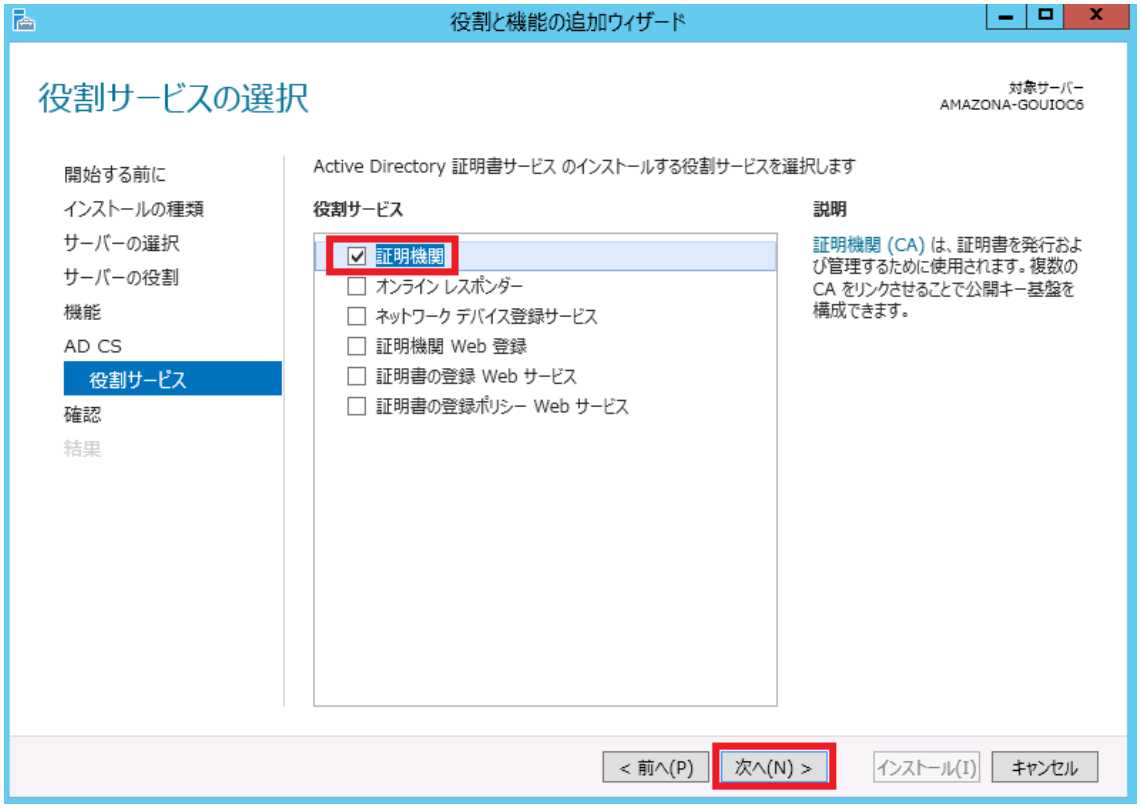
「次へ」をクリックします。



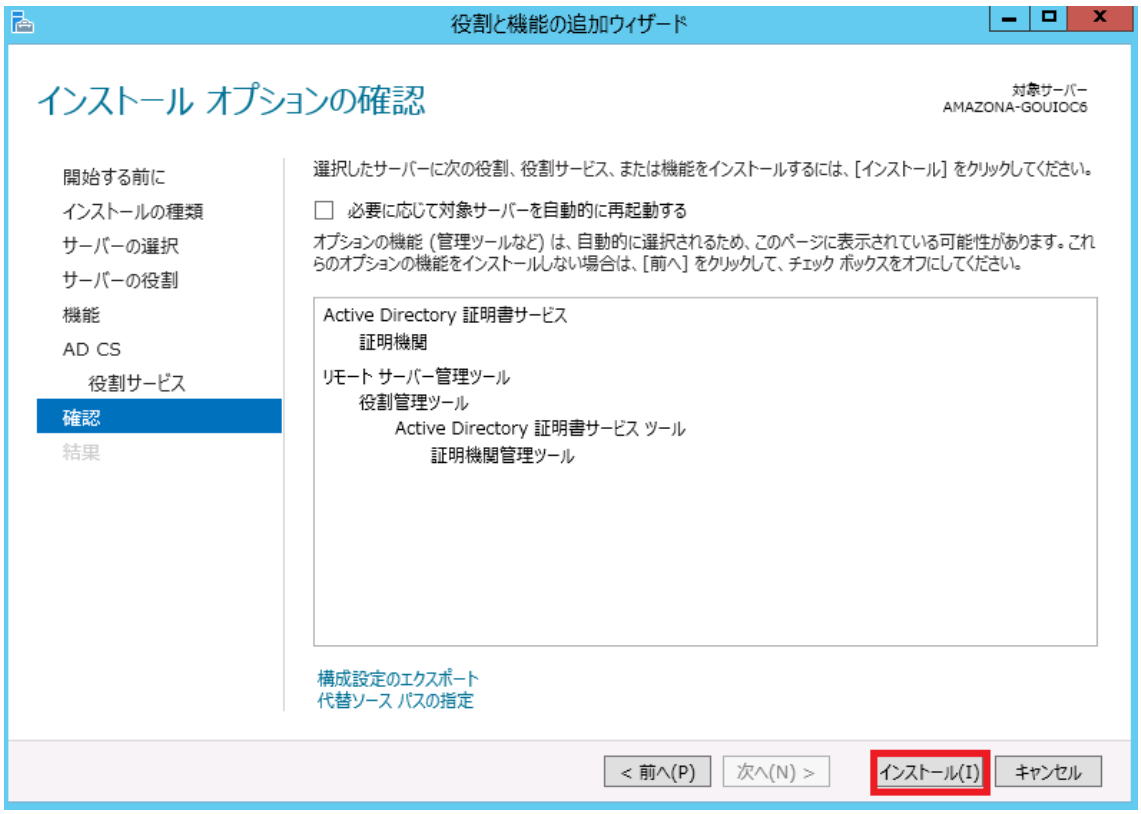
「次へ」をクリックします。



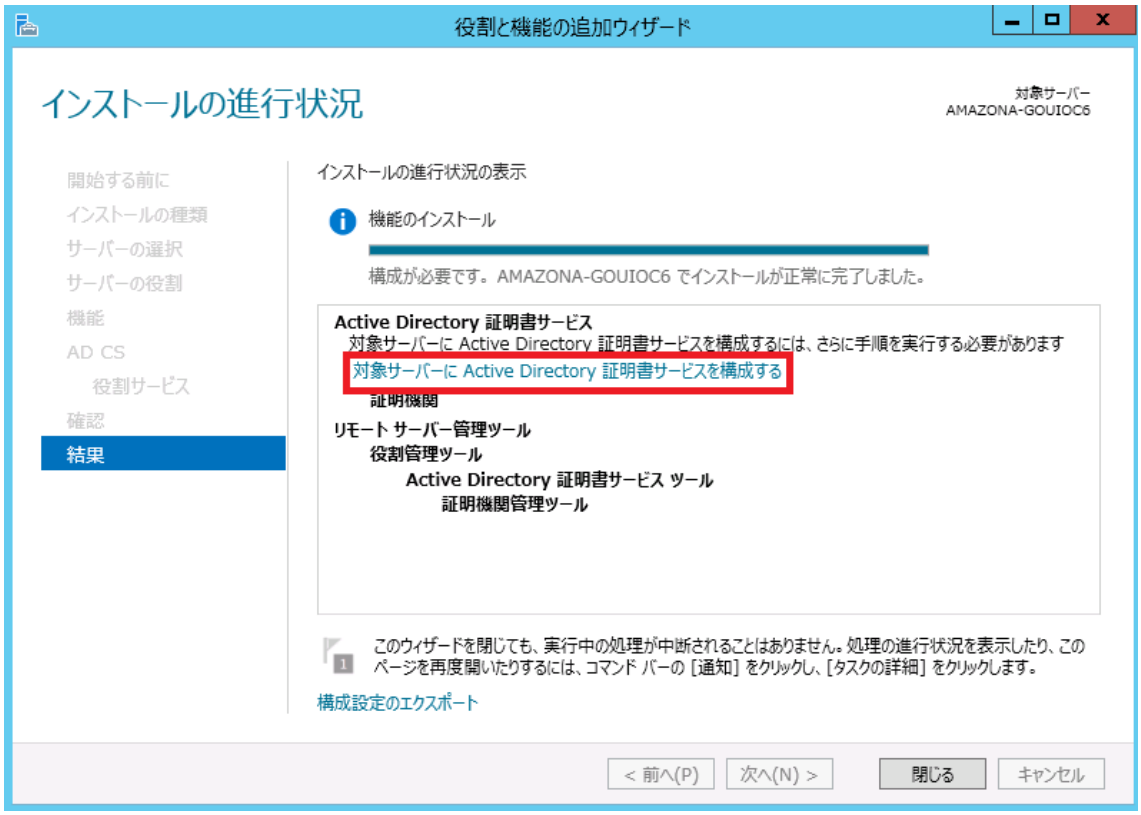
「次へ」をクリックします。



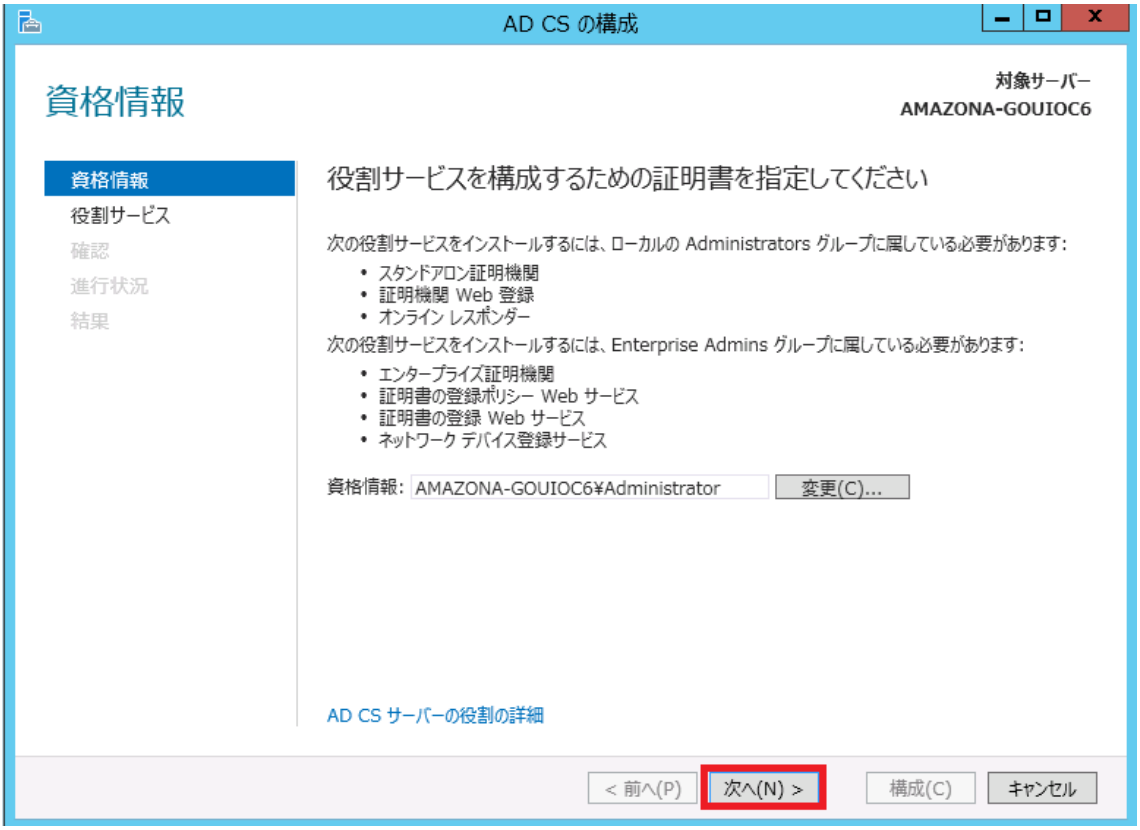
「証明機関」を選択し「次へ」をクリックします。



「インストール」をクリックします。

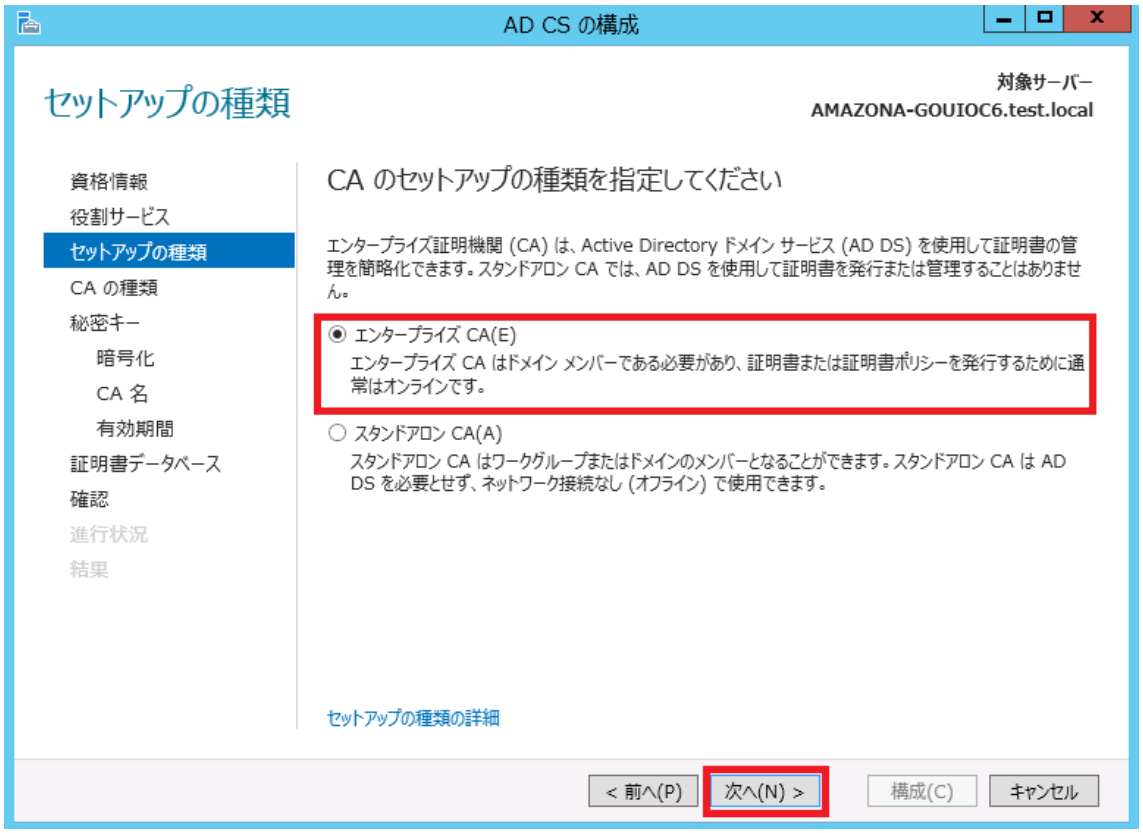


インストール完了後、「対象サーバーに Active Directory 証明書サービスを構成する」をクリックします。

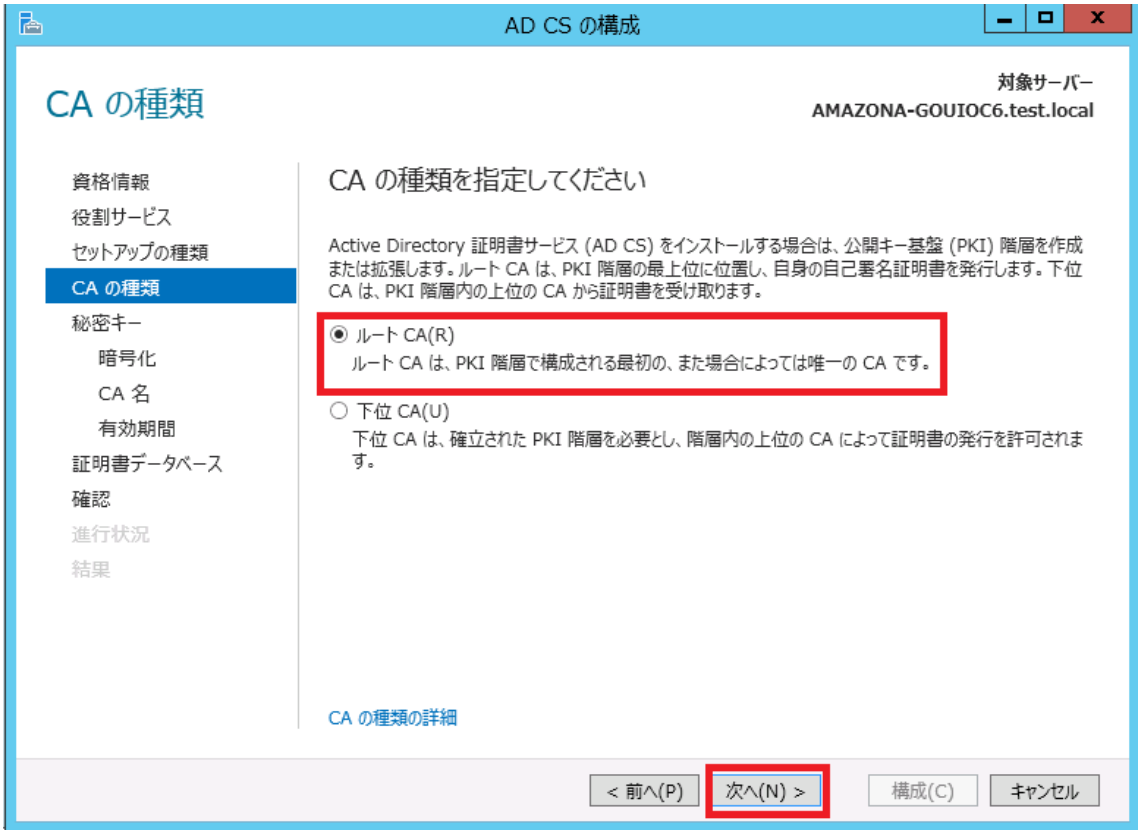


「次へ」をクリックします。

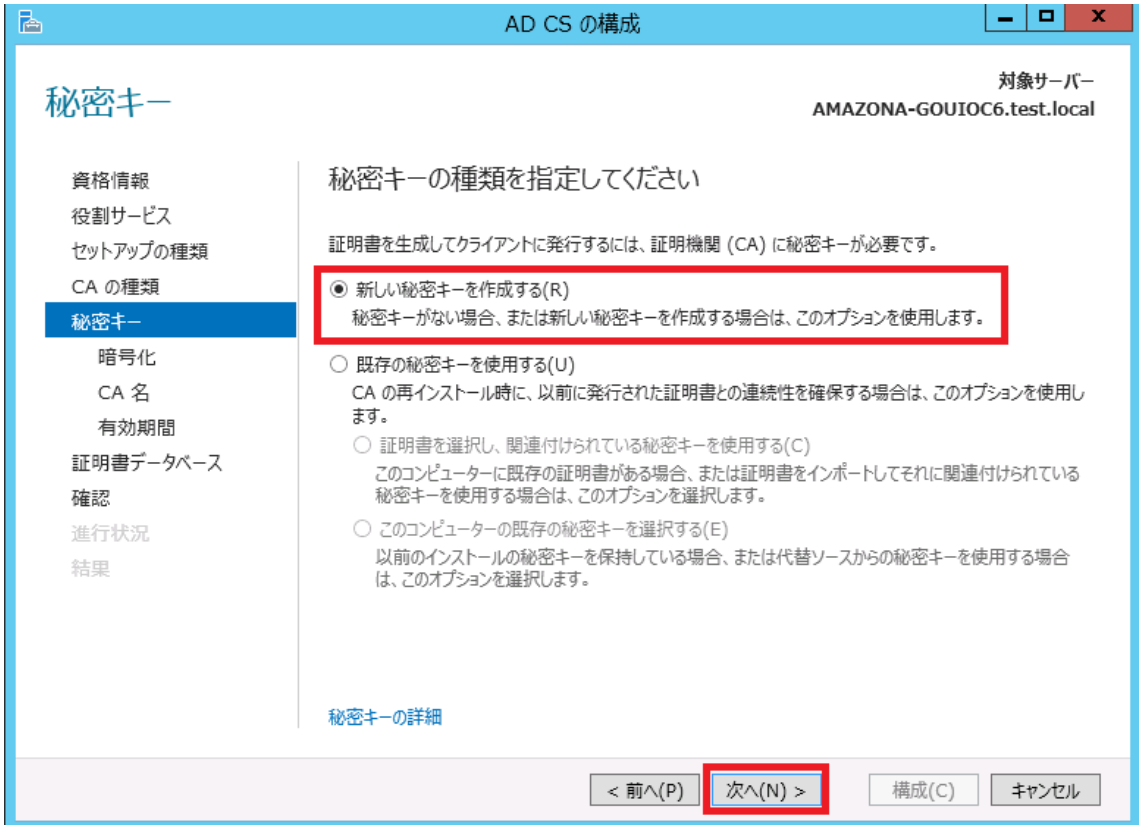
「証明機関」のチェック確認後、「次へ」をクリックします。



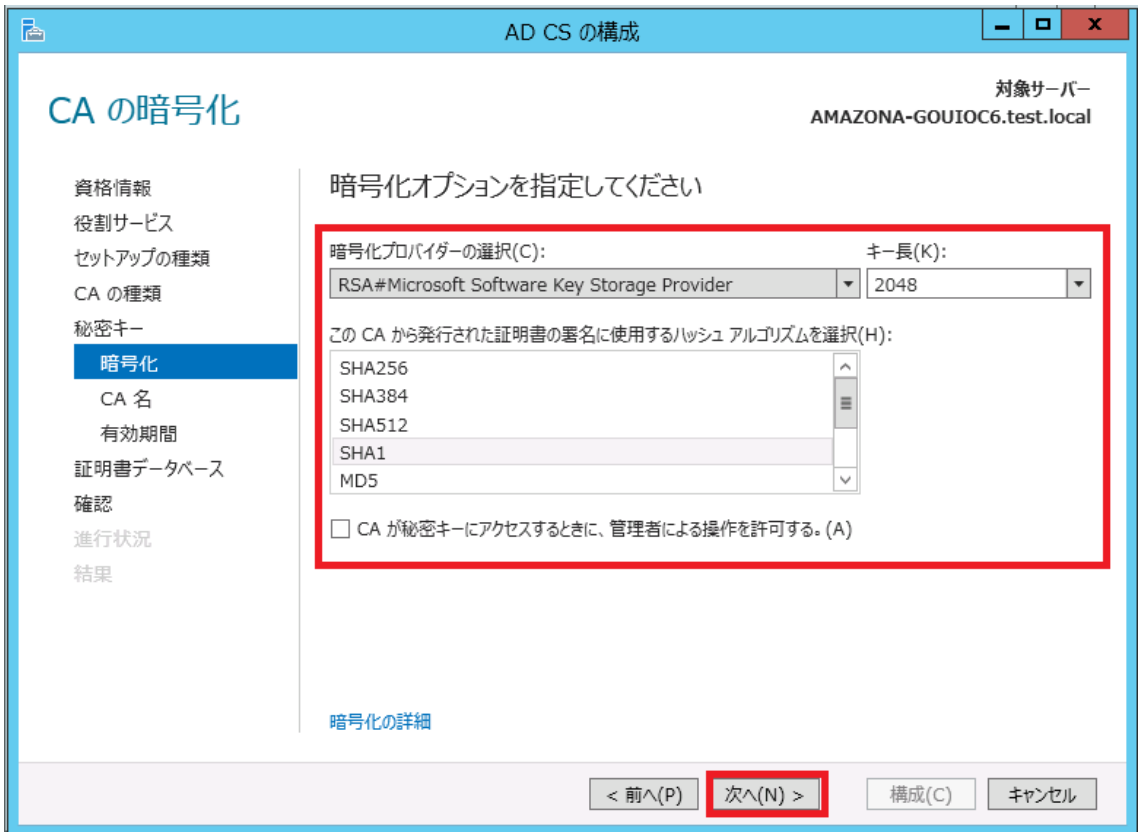
「エンタープライズ CA」選択後、「次へ」をクリックします。



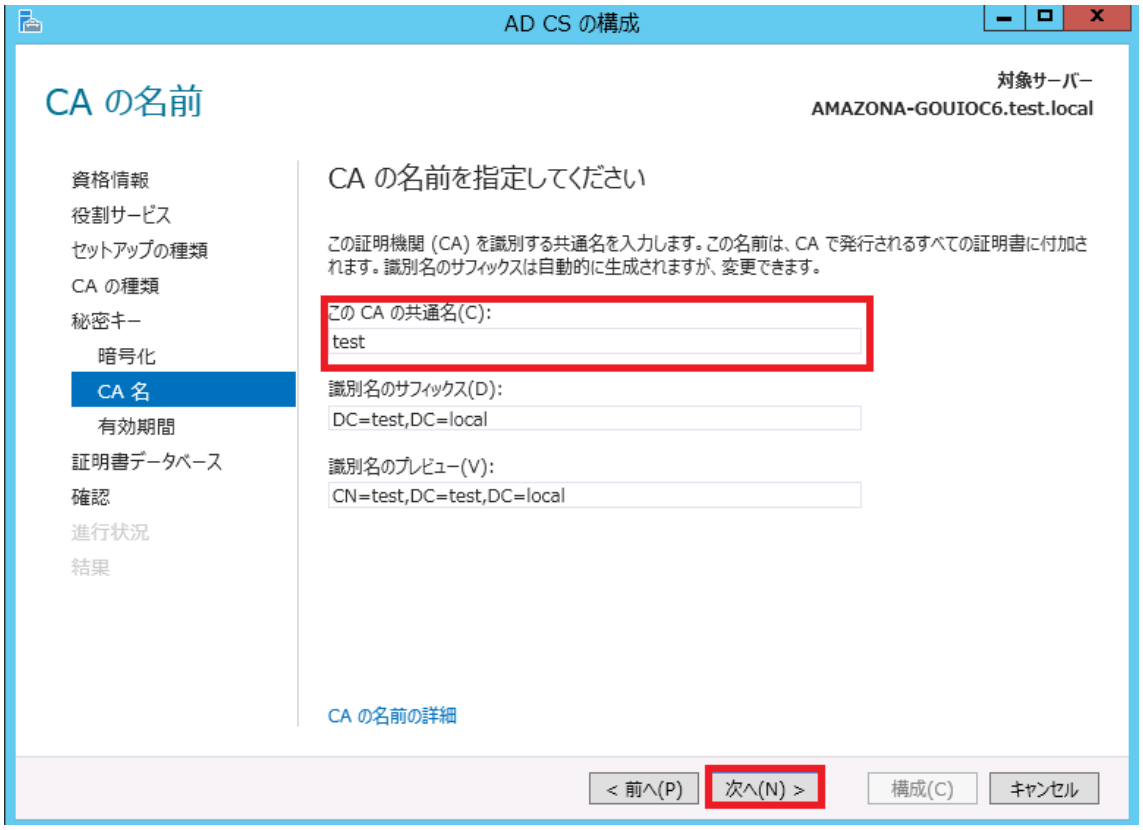
「ルート CA」選択後、「次へ」をクリックします。



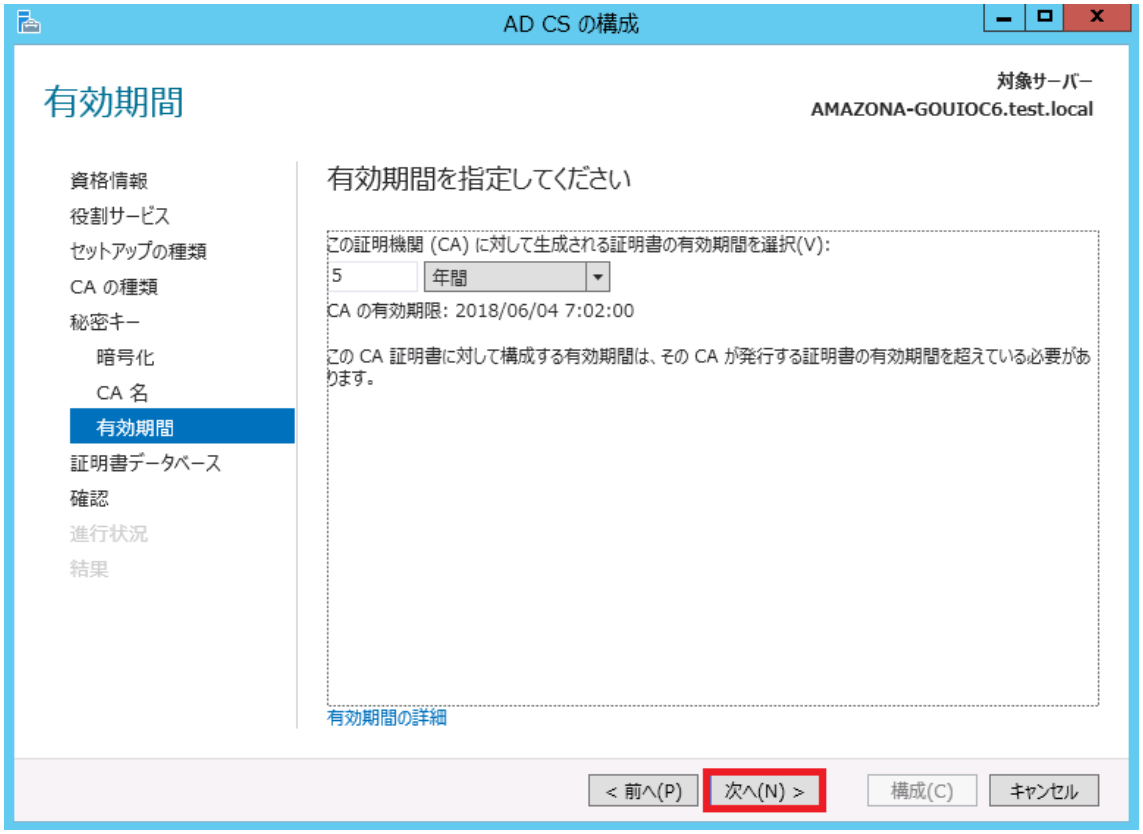
「新しい秘密キーを作成する」選択後、「次へ」をクリックします。



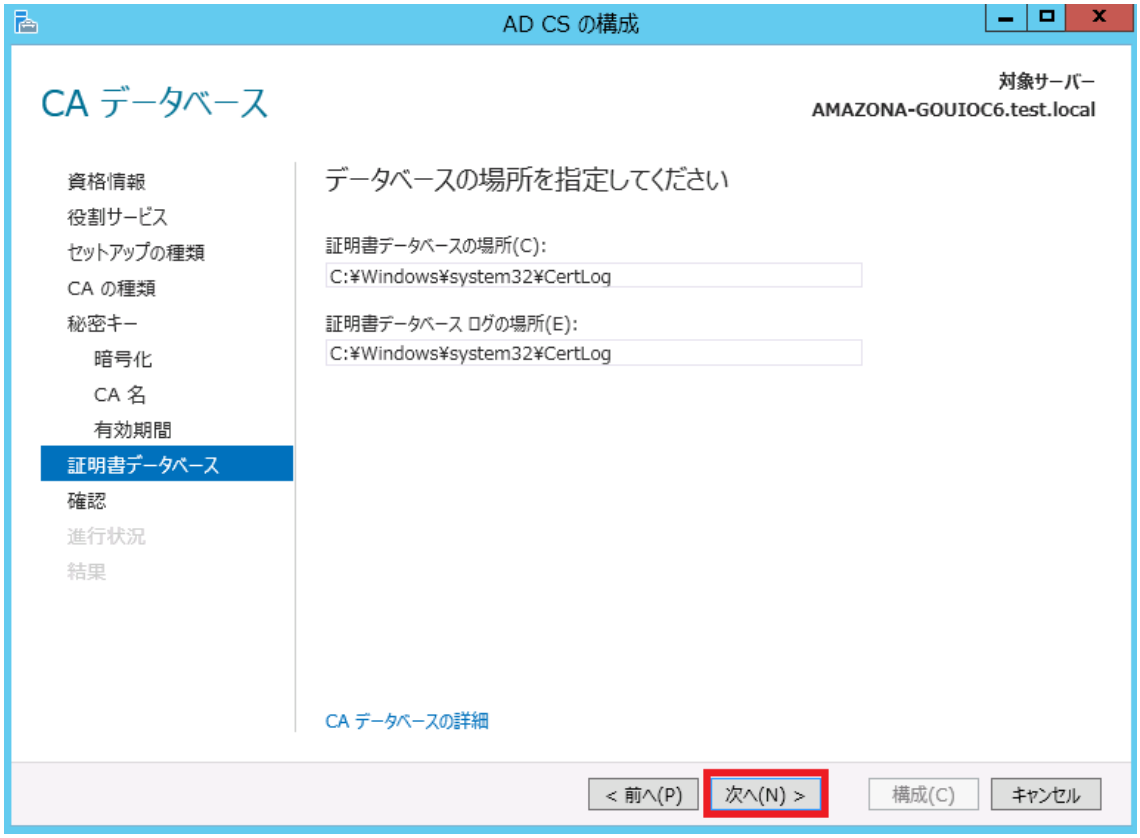
各設定項目はデフォルトのままで「次へ」をクリックします。



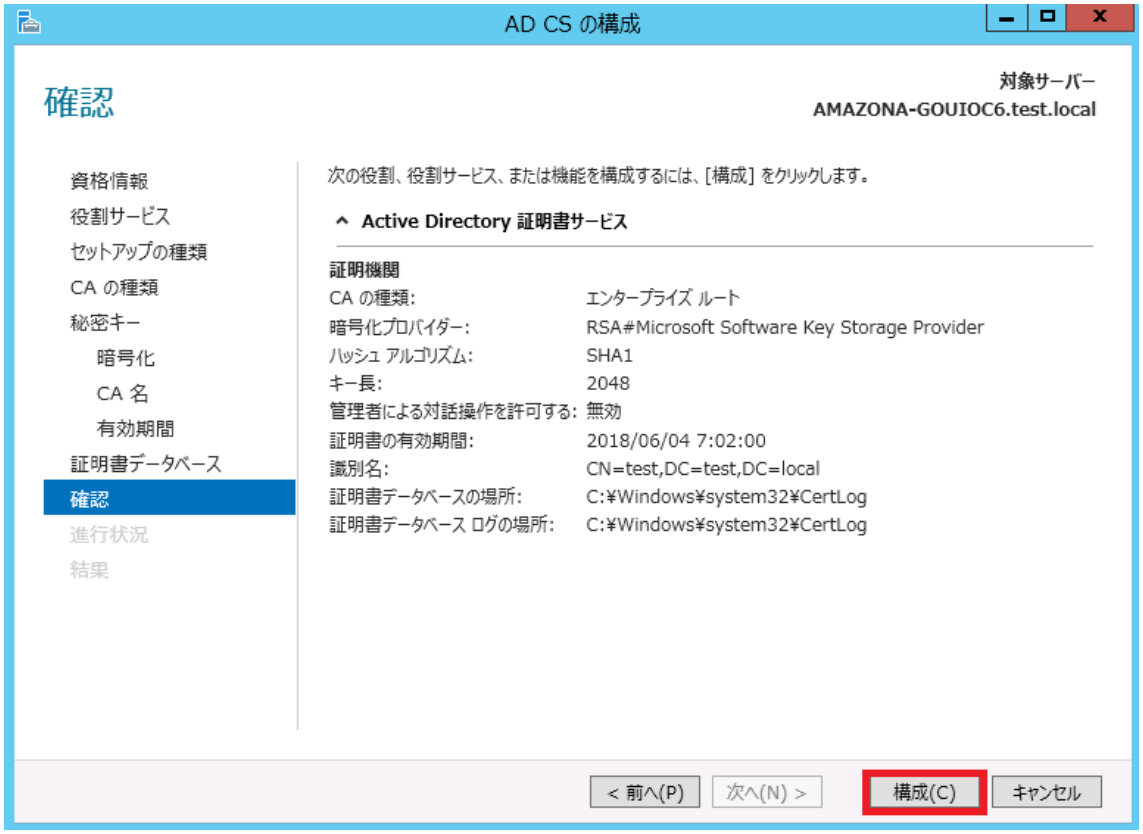
「この CA の共通名」に適当な名称を入力して、「次へ」をクリックします。



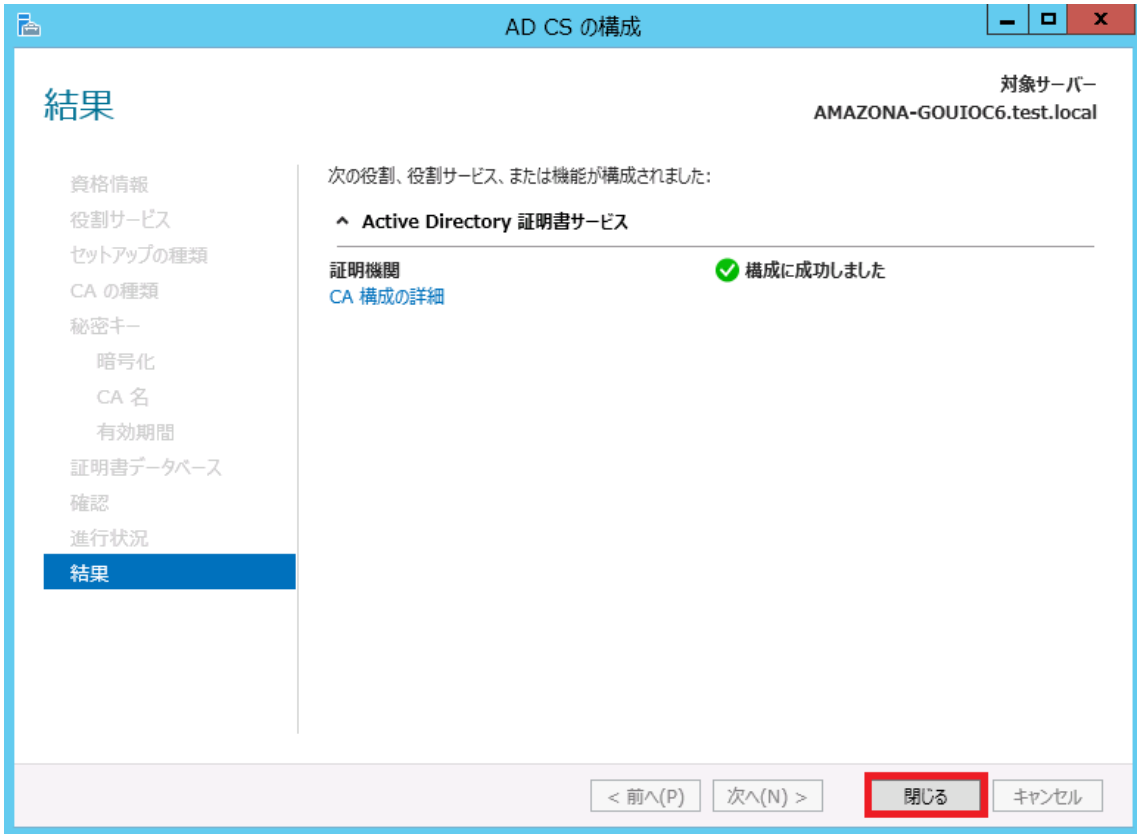
「次へ」をクリックします。



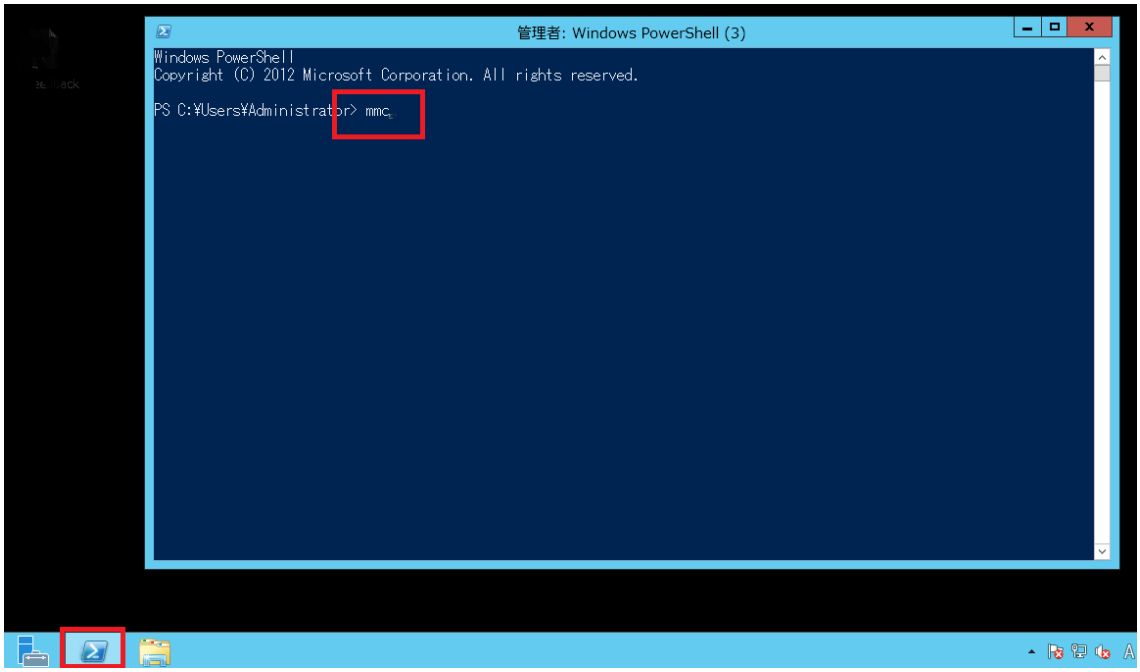
「次へ」クリックします。



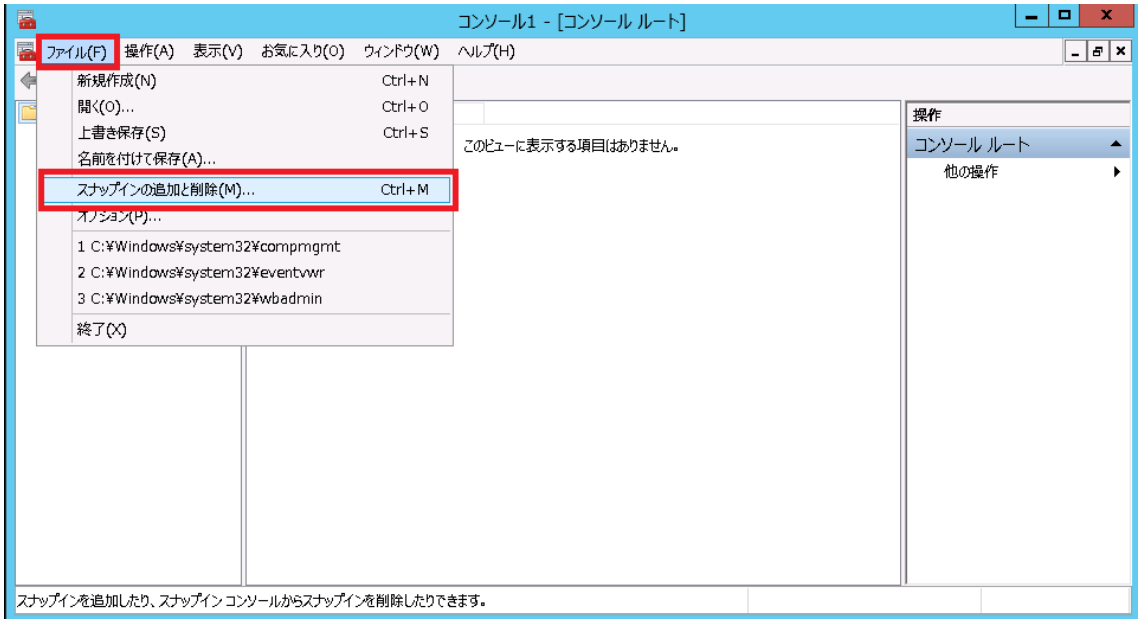
「構成」をクリックします。



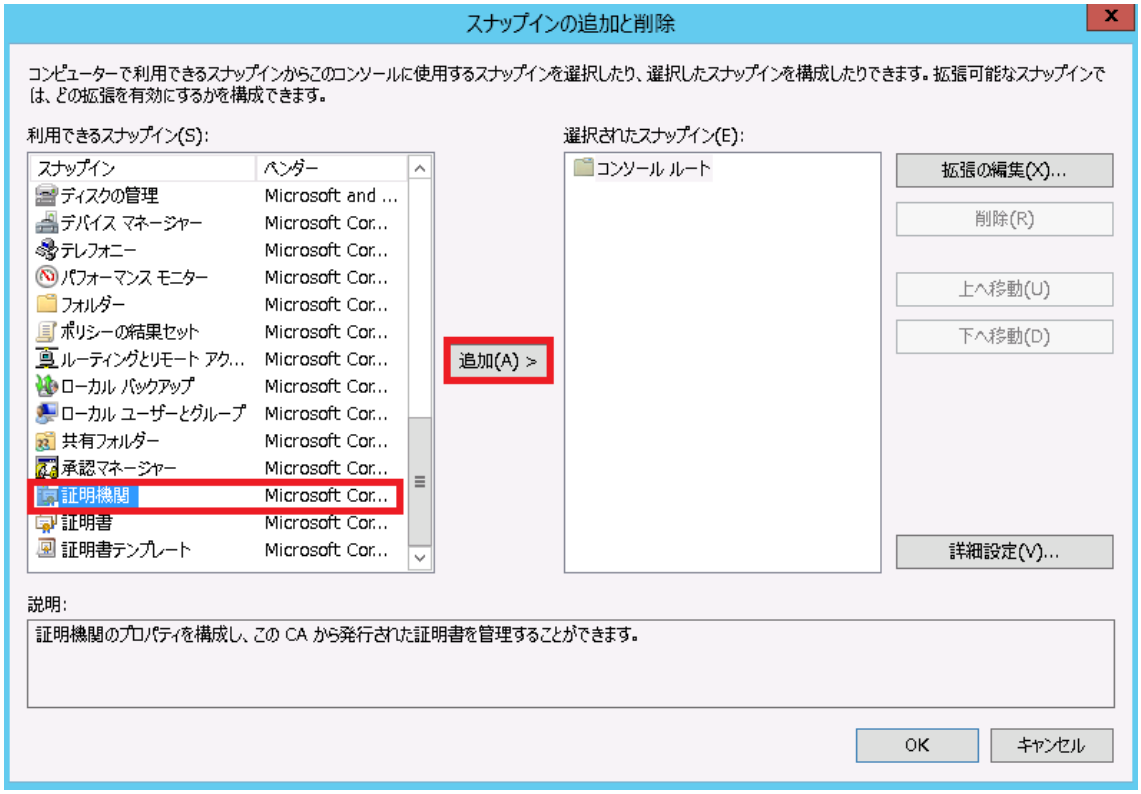
「閉じる」をクリックします。



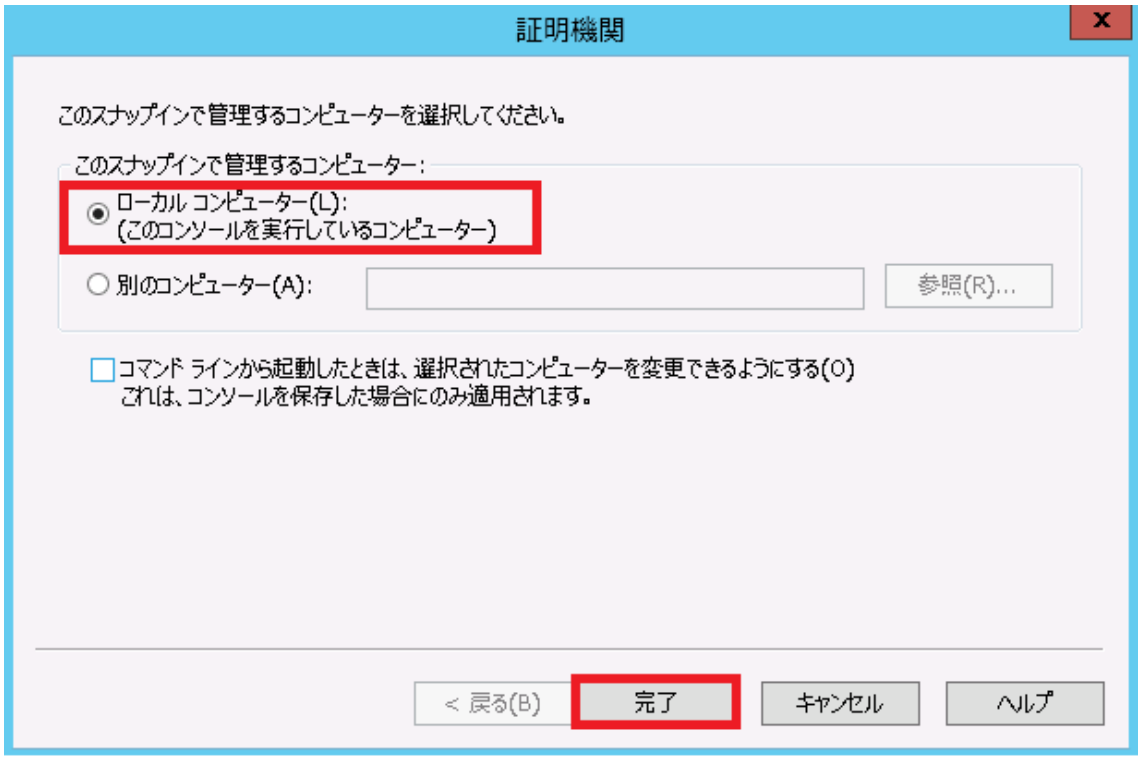
左下「Windows PoserShell ボタン]をクリックして起動し mmc と入力します。



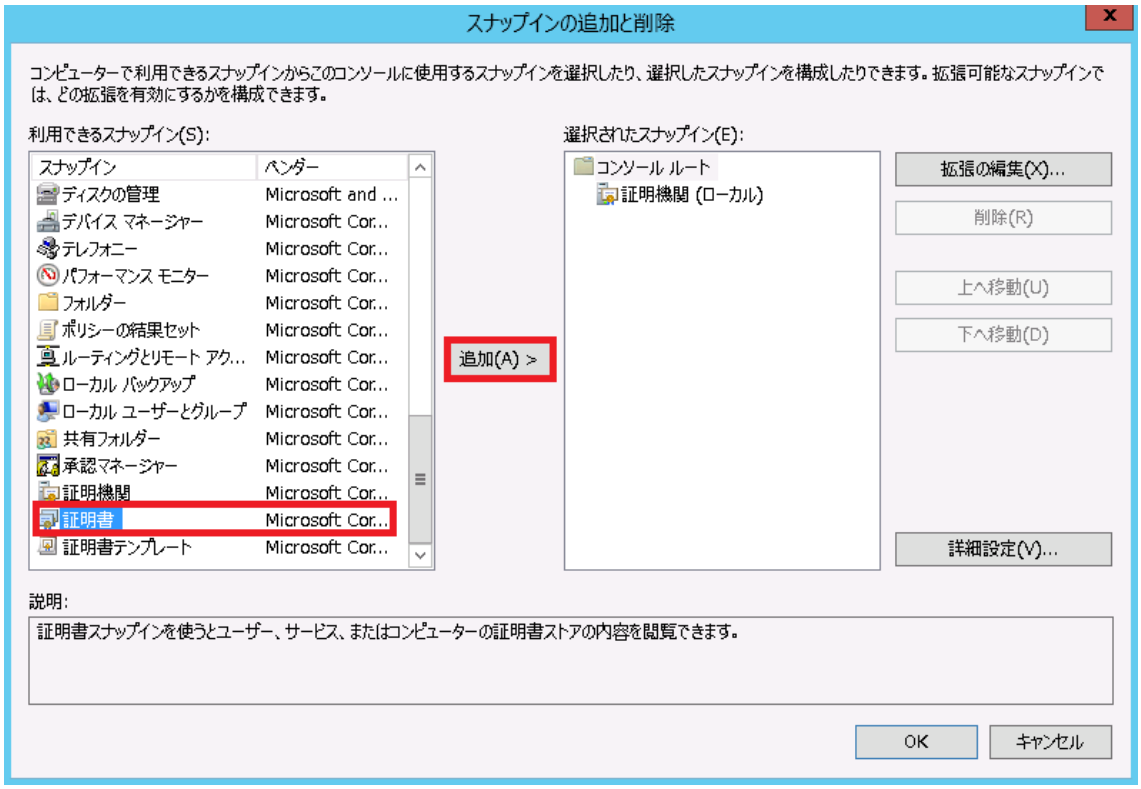
ウィンドウが開きますので、「ファイル」→「スナップインの追加と削除」をクリックします。



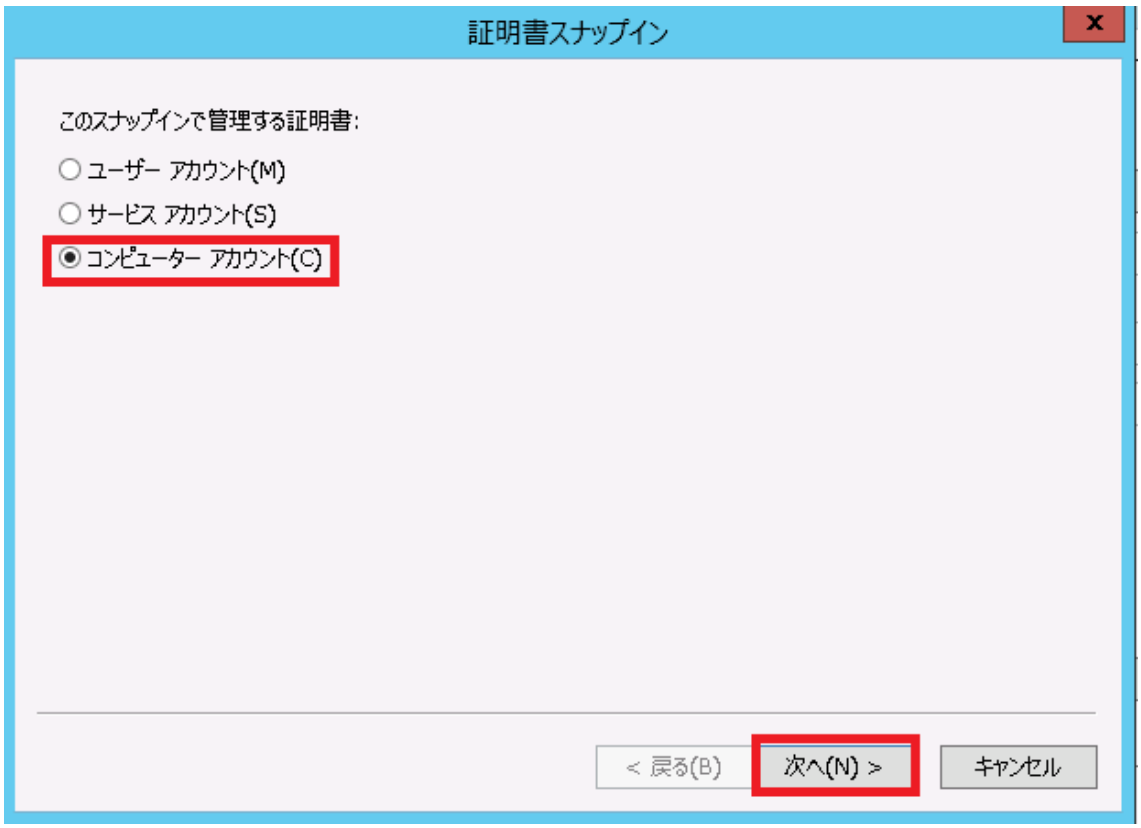
「証明機関」を選択し、「追加」をクリックします。



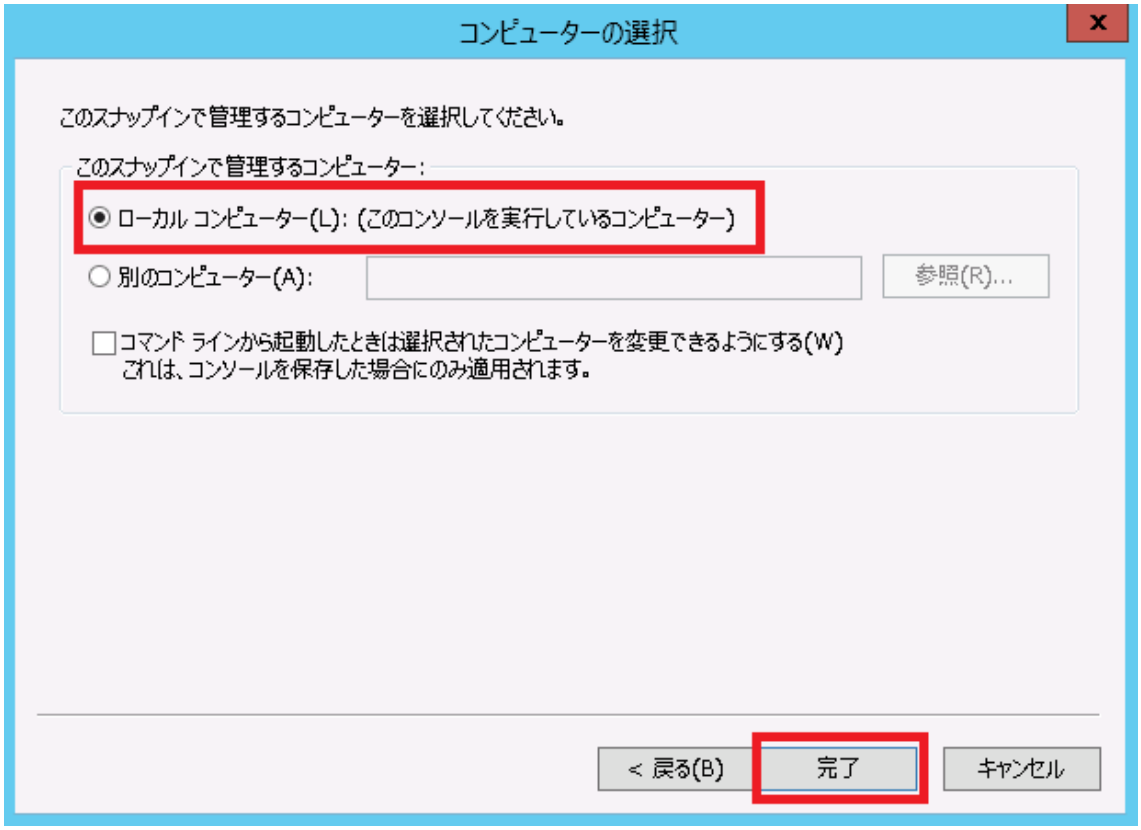
「ローカルコンピューター」を選択し、「完了」をクリックします。



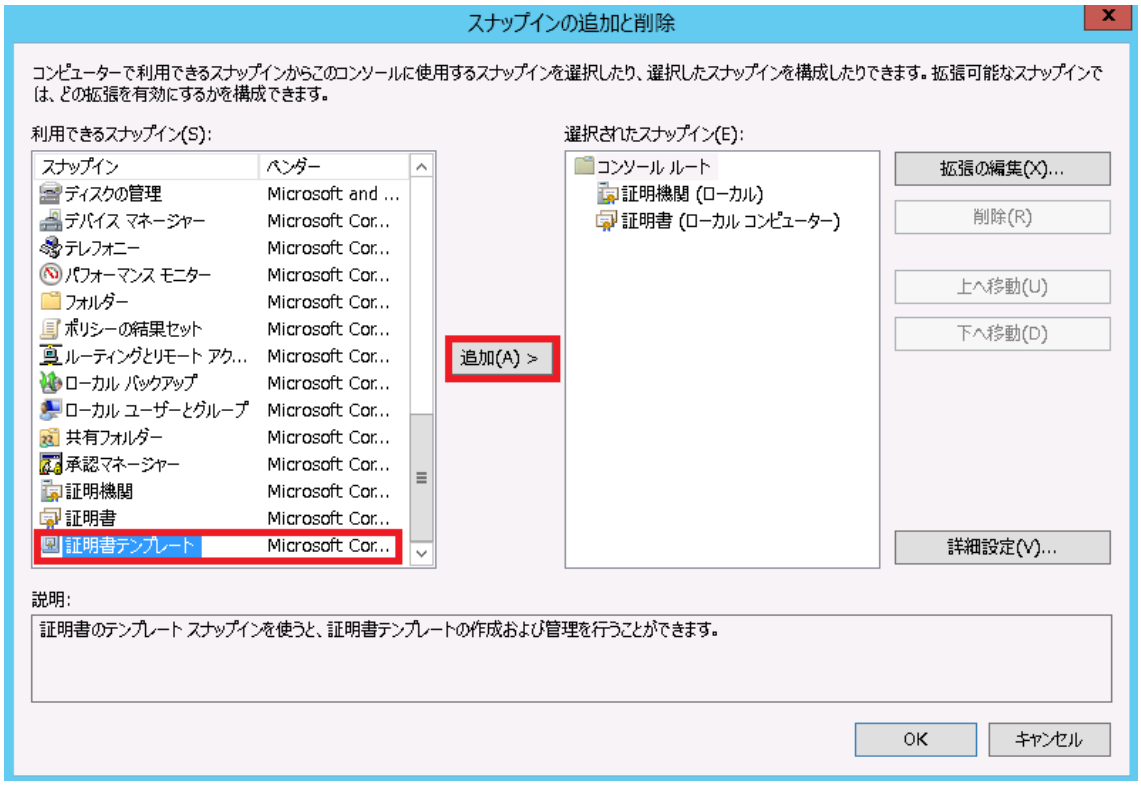
「証明書」を選択し、「追加」をクリックします。



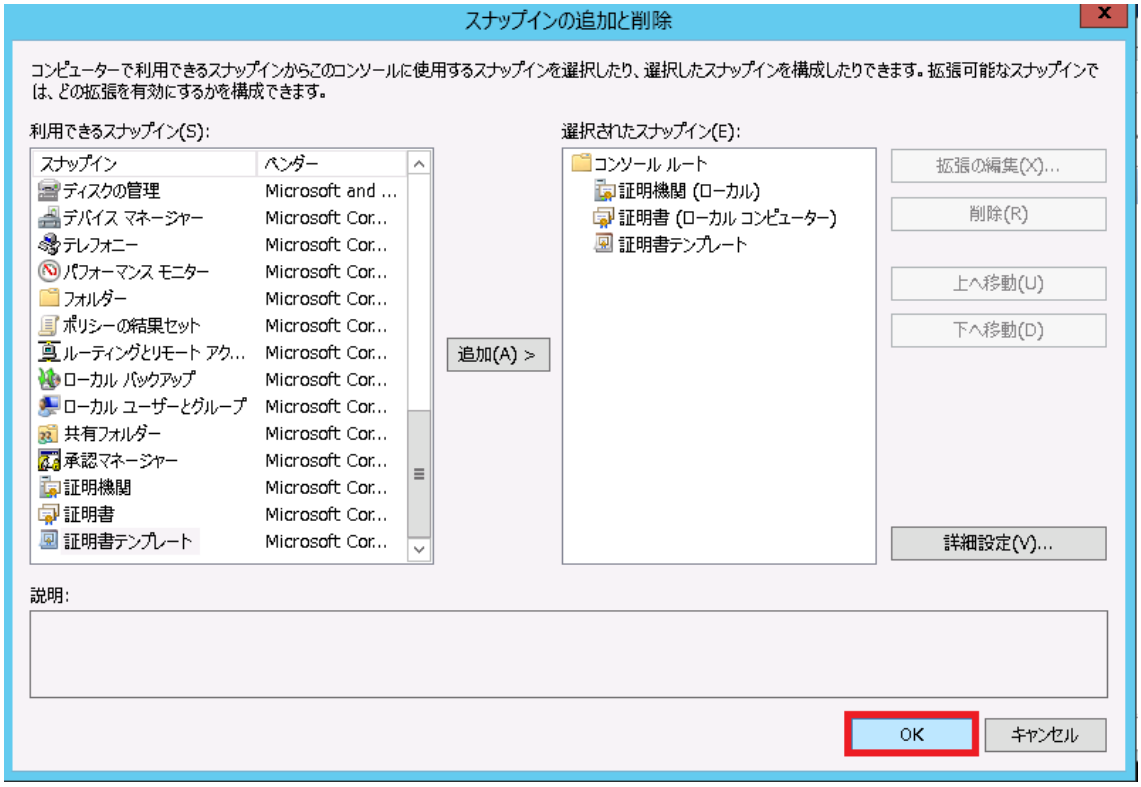
「コンピューターアカウント」を選択し、「次へ」をクリックします。



「ローカルコンピューター」を選択し、「完了」をクリックします。

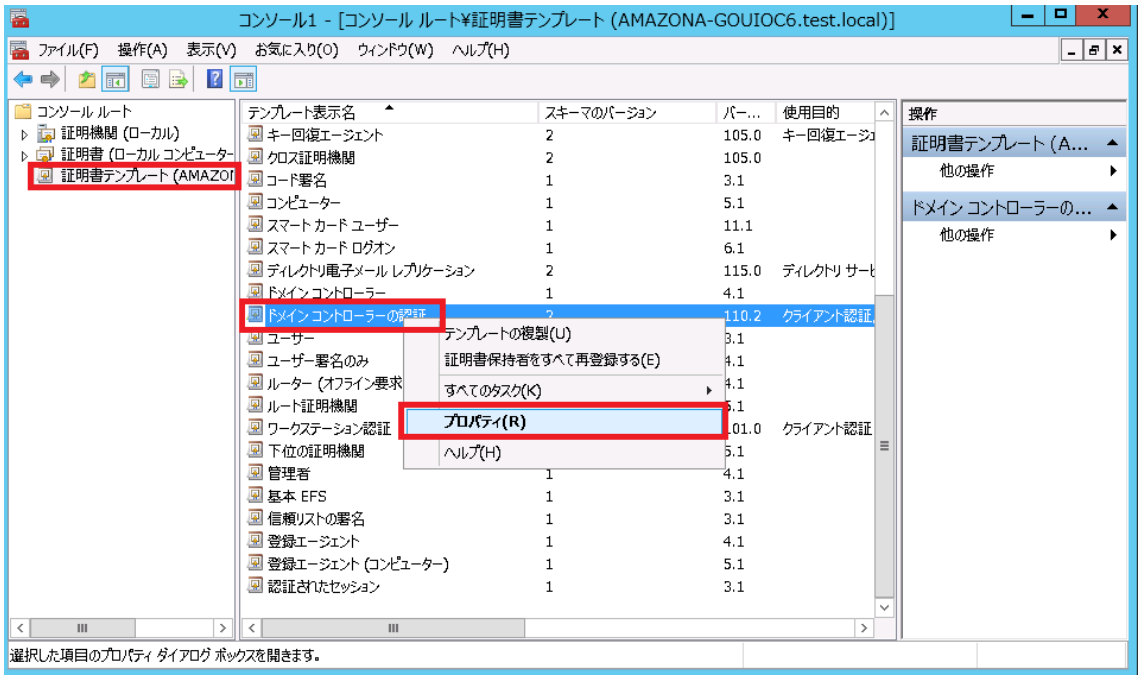


「証明書テンプレート」を選択し、「追加」をクリックします。

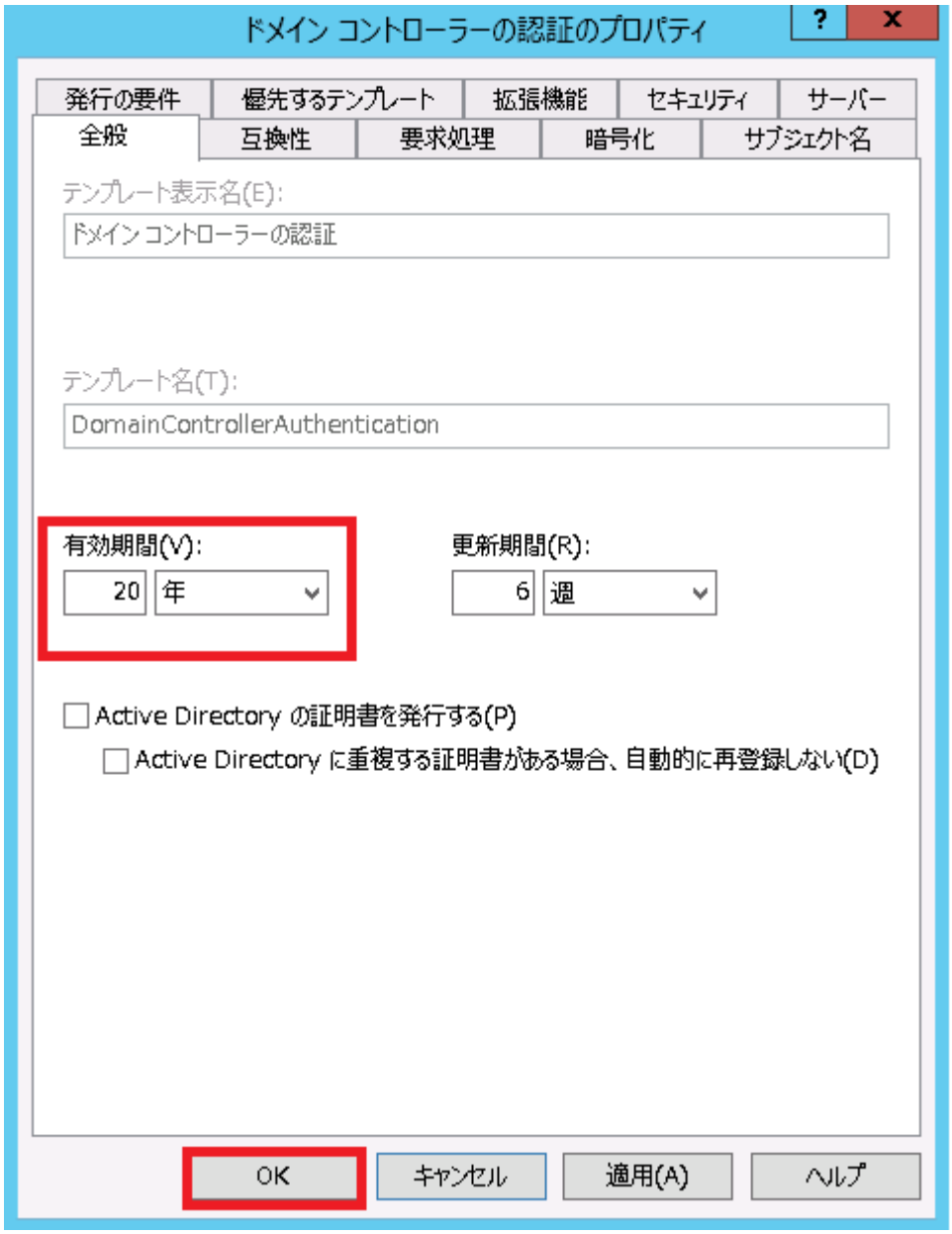


「OK」をクリックします。

2.証明書の有効期限

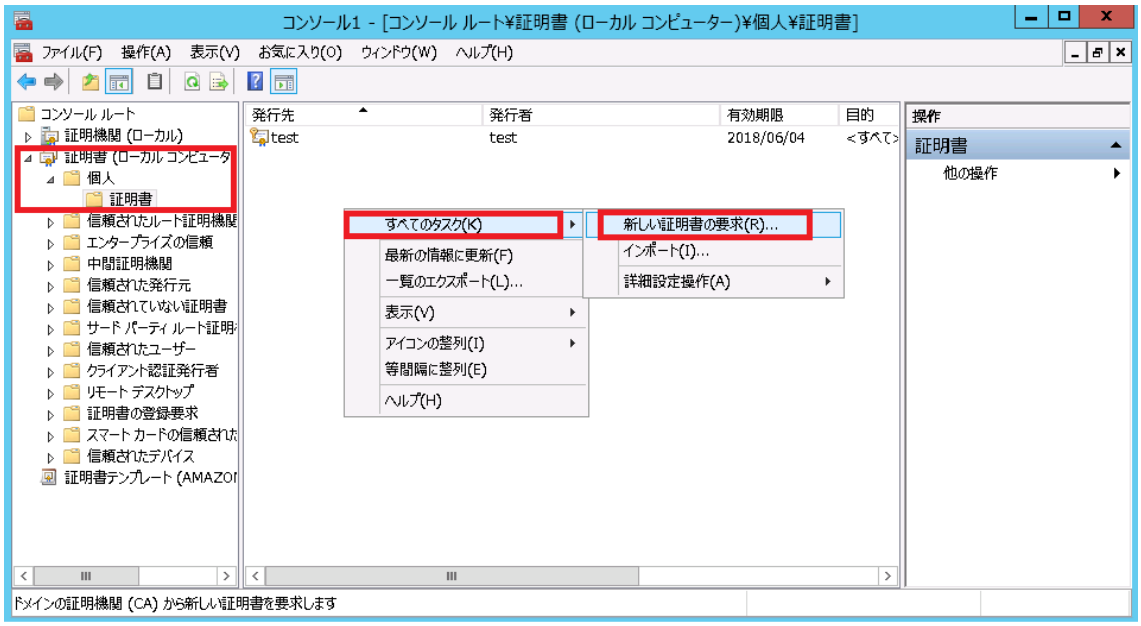


「証明書テンプレート」をクリックし、「ドメインコントローラの認証」で右クリックして、「プロパティ」を選択します。

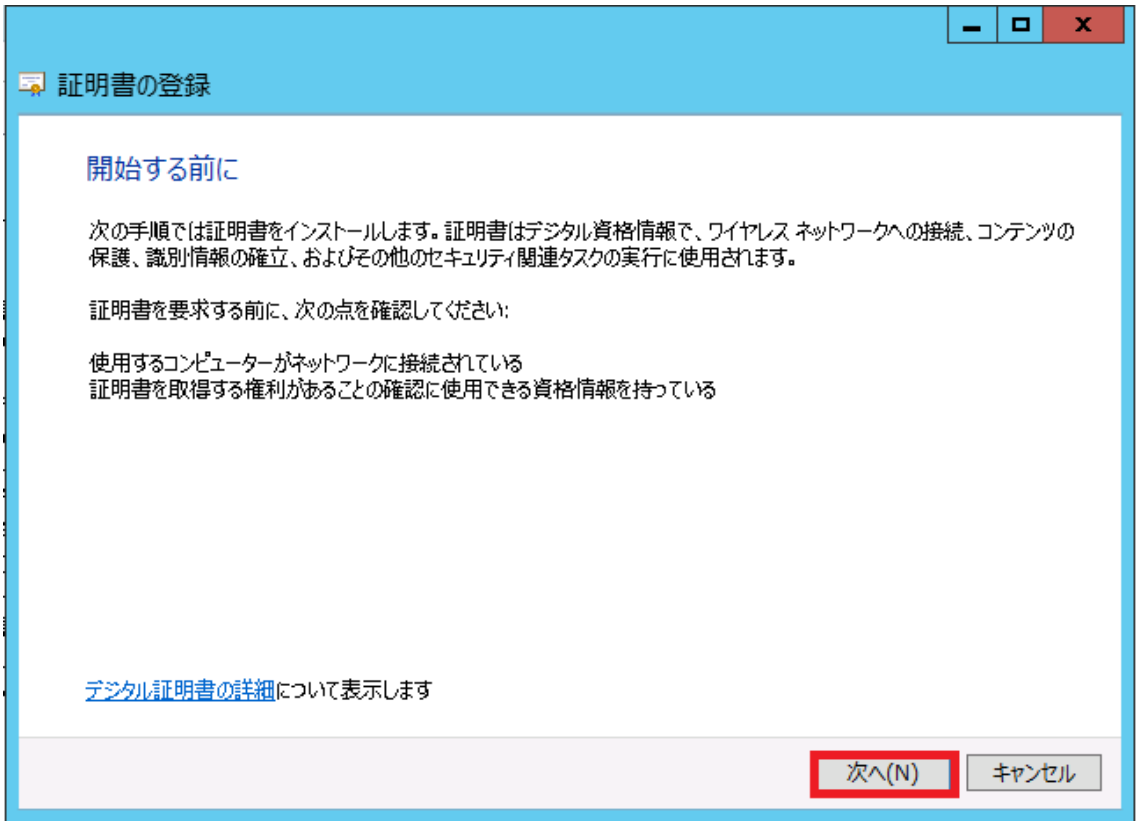


「有効期限」を確認し、20 年などの長い期間に設定し、「OK」をクリックします。

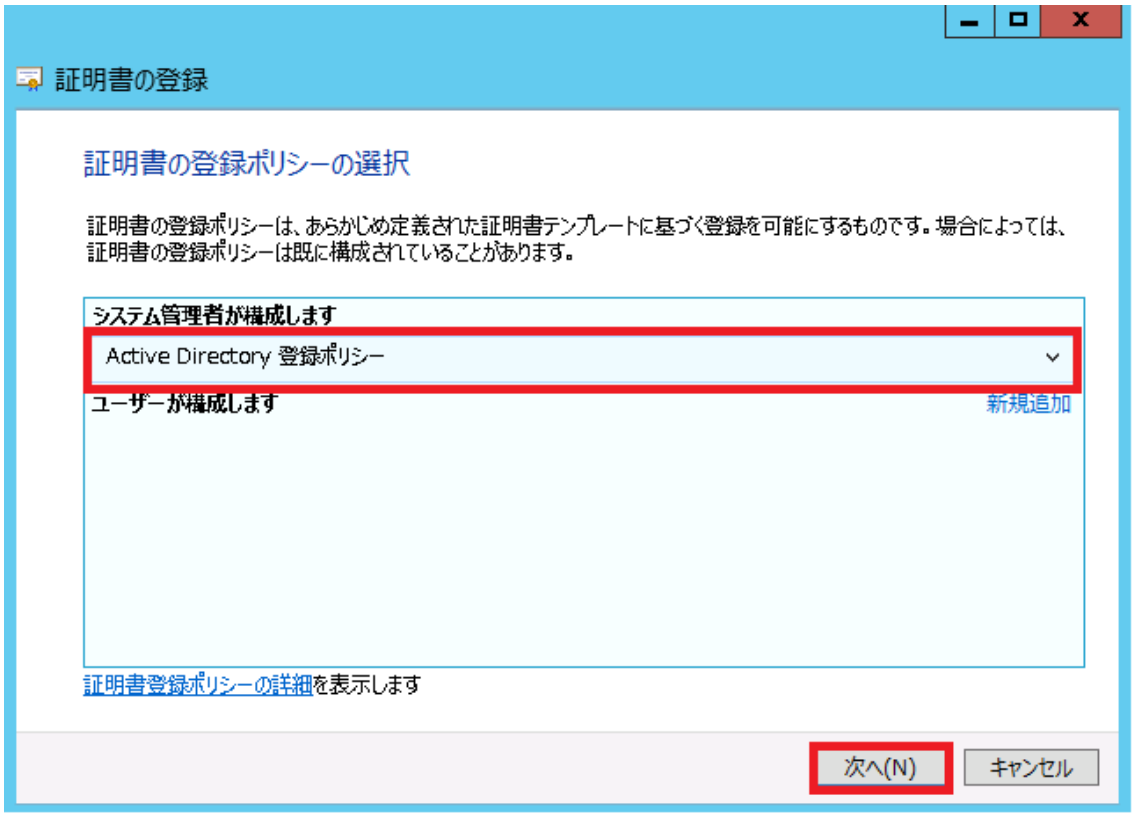
3.証明書の作成



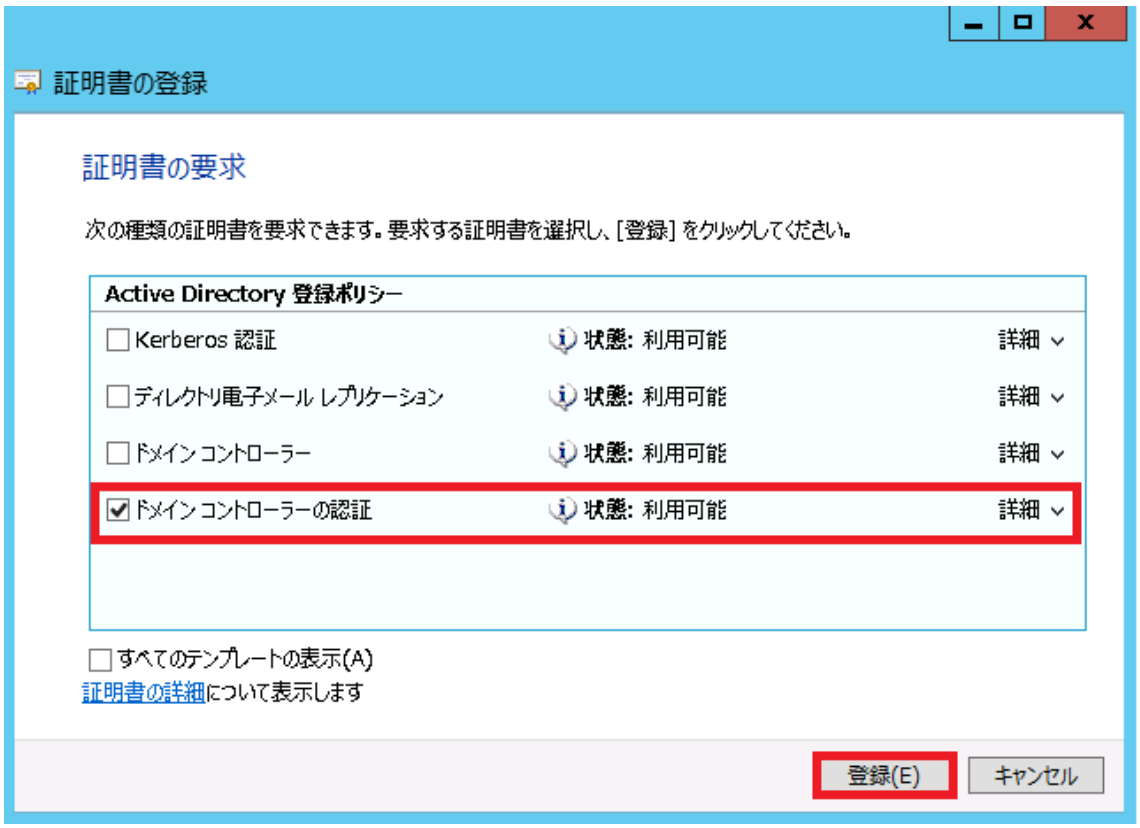
左ペインで「証明書」→「個人」→「証明書」を選択します。
中央ペインの何もないところで右クリックし、「すべてのタスク」→「新しい証明書の要求」をクリックします。



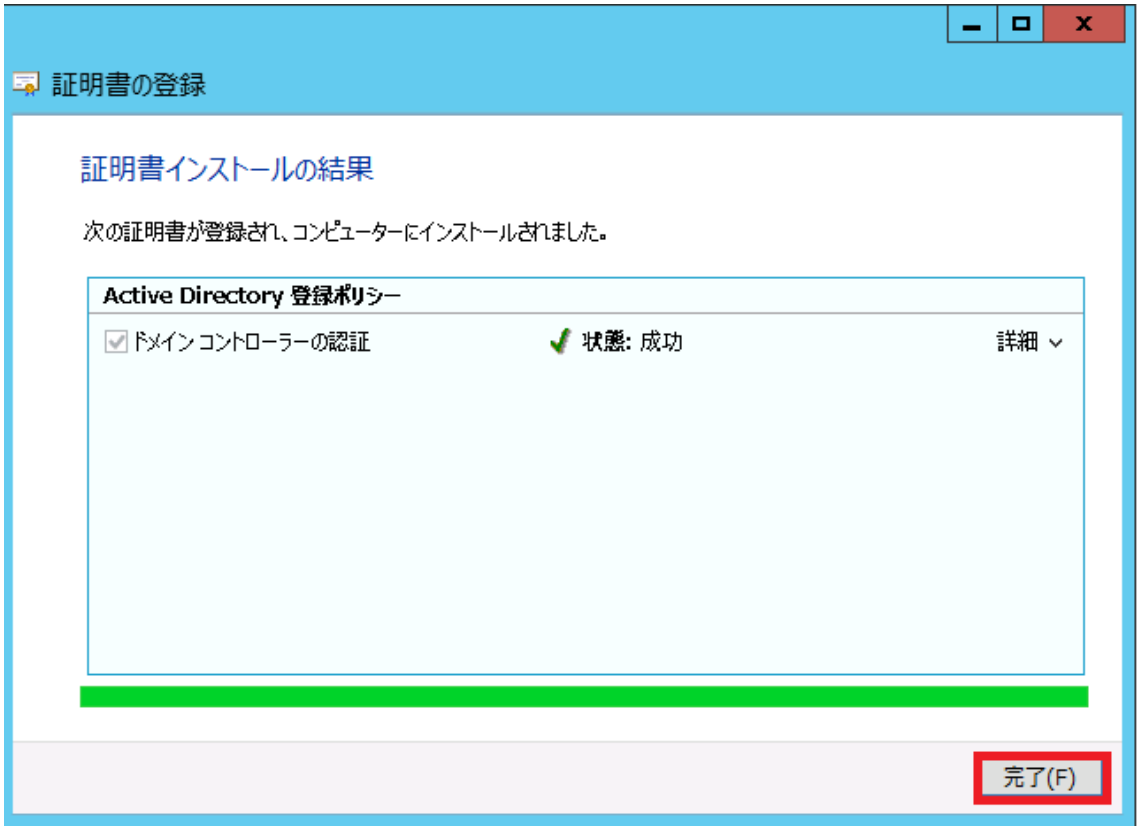
「次へ」をクリックします。



「Active Directory 登録ポリシー」を選択し、「次へ」をクリックします。

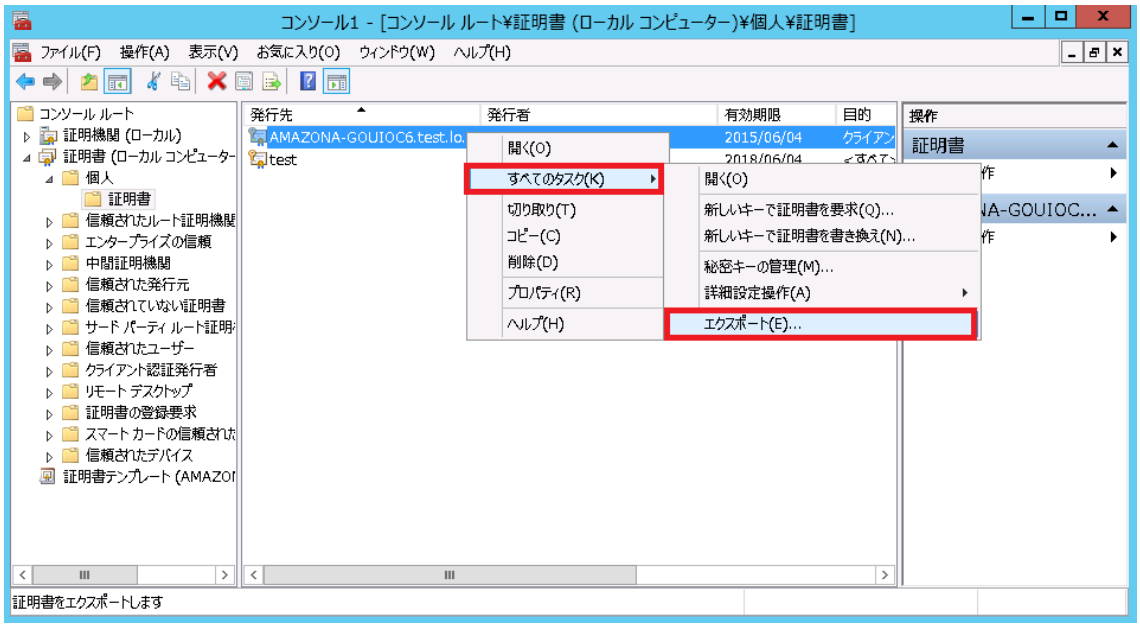


「ドメインコントローラの認証」を選択し、「登録」をクリックします。

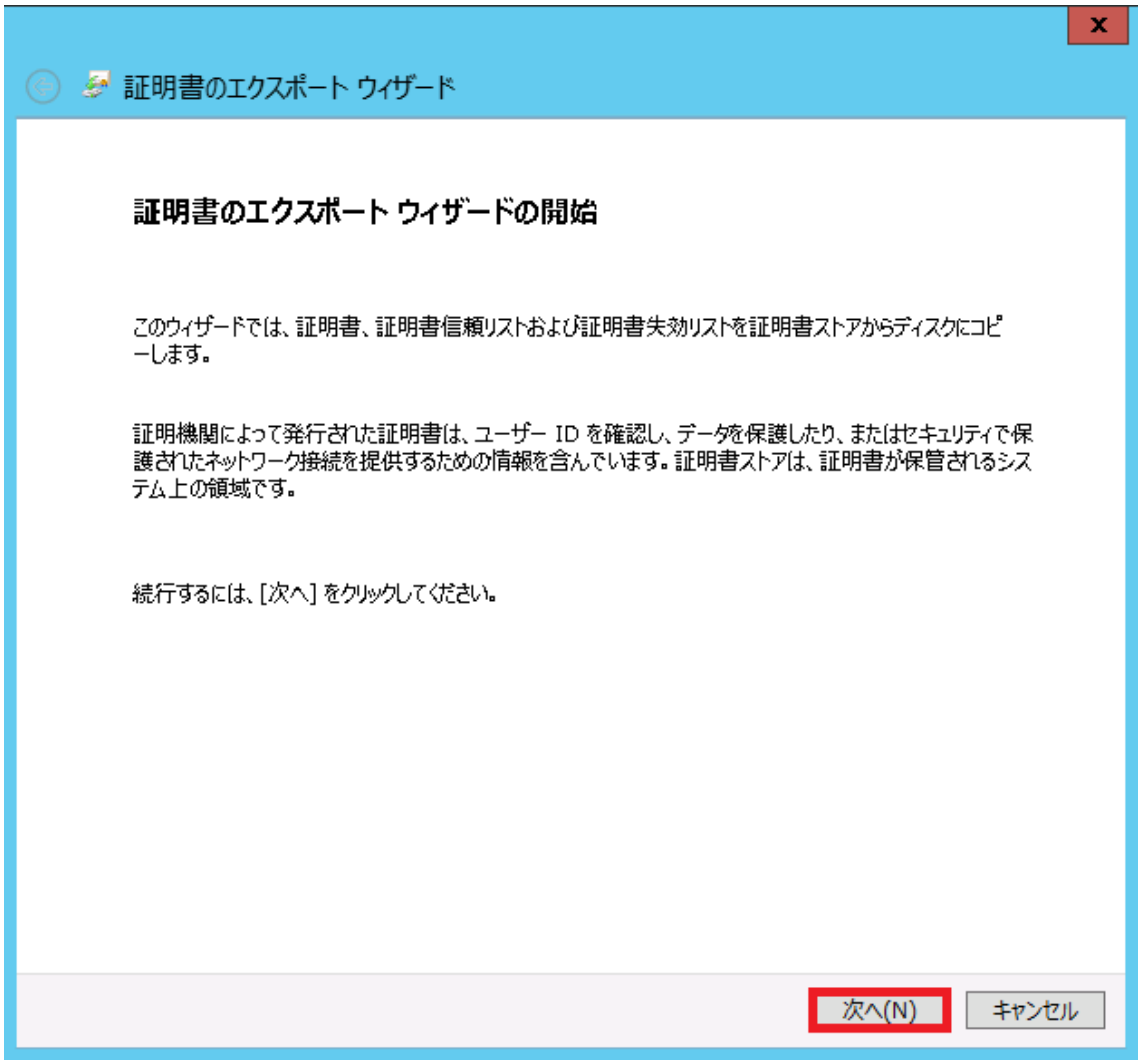


「完了」をクリックします。

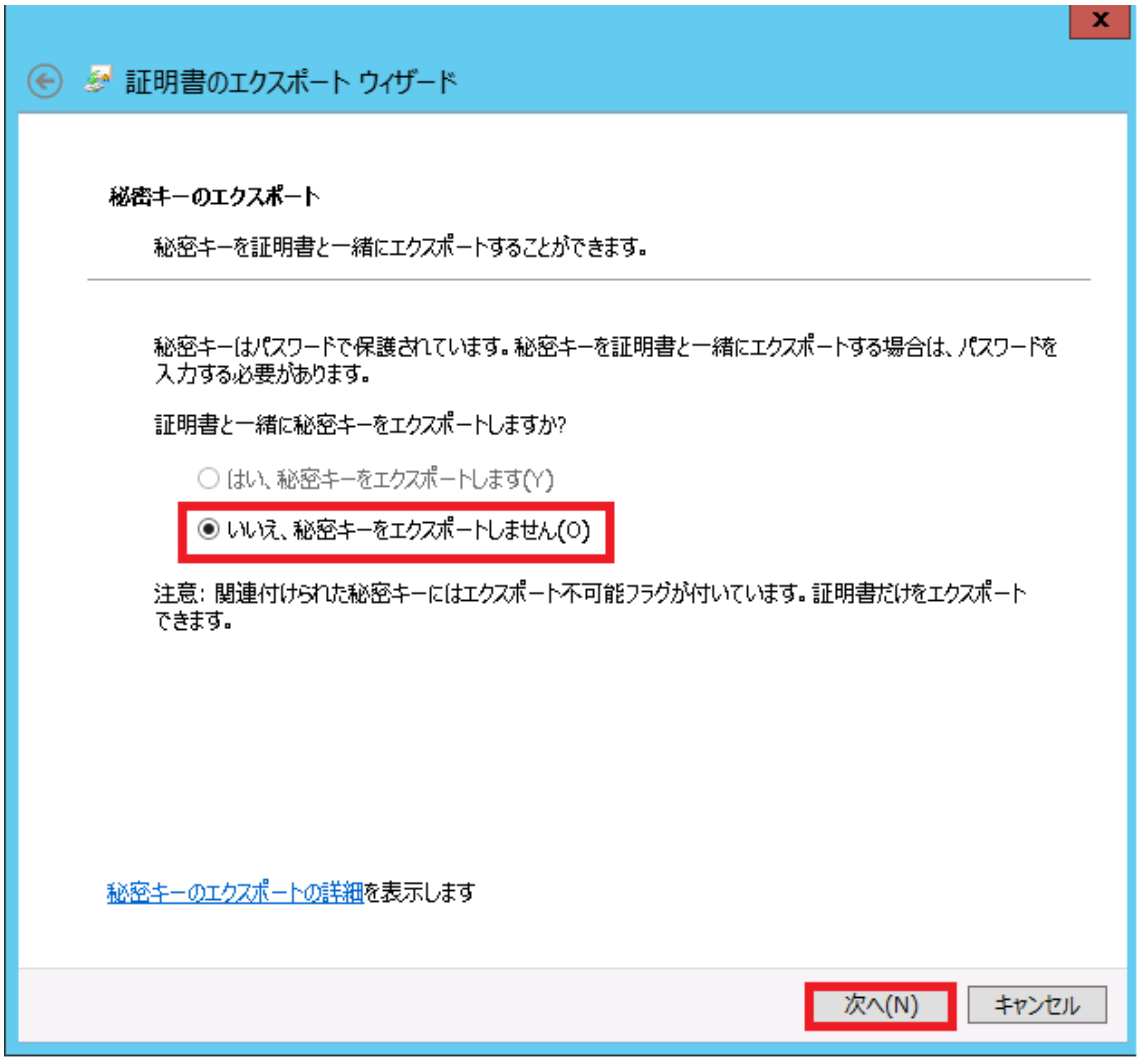
4.証明書のエクスポート



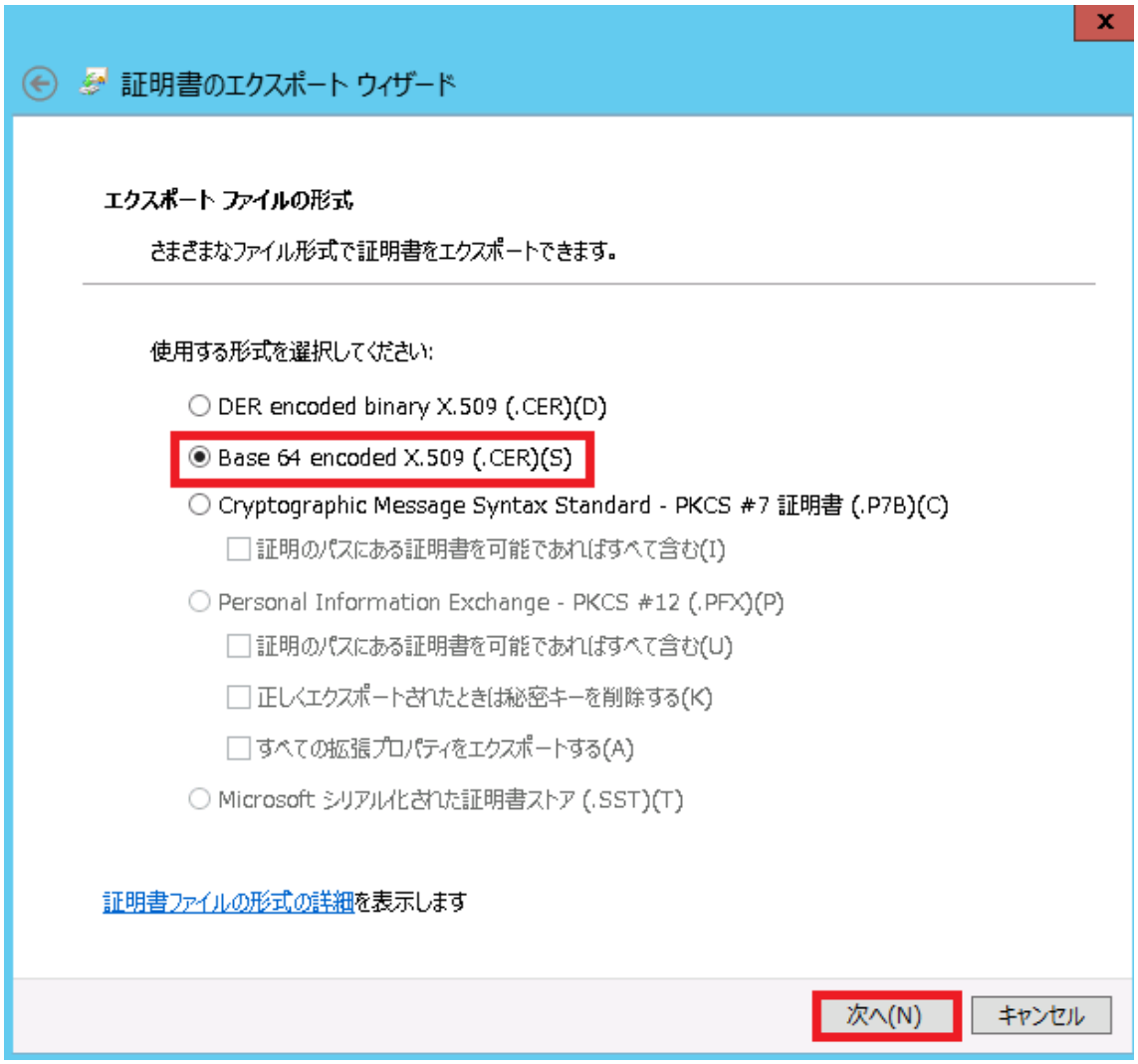
中央ペインでさきほど作成したものを選択して右クリックで表示されるメニューから、「すべてのタスク」→「エクスポート」を選択します。



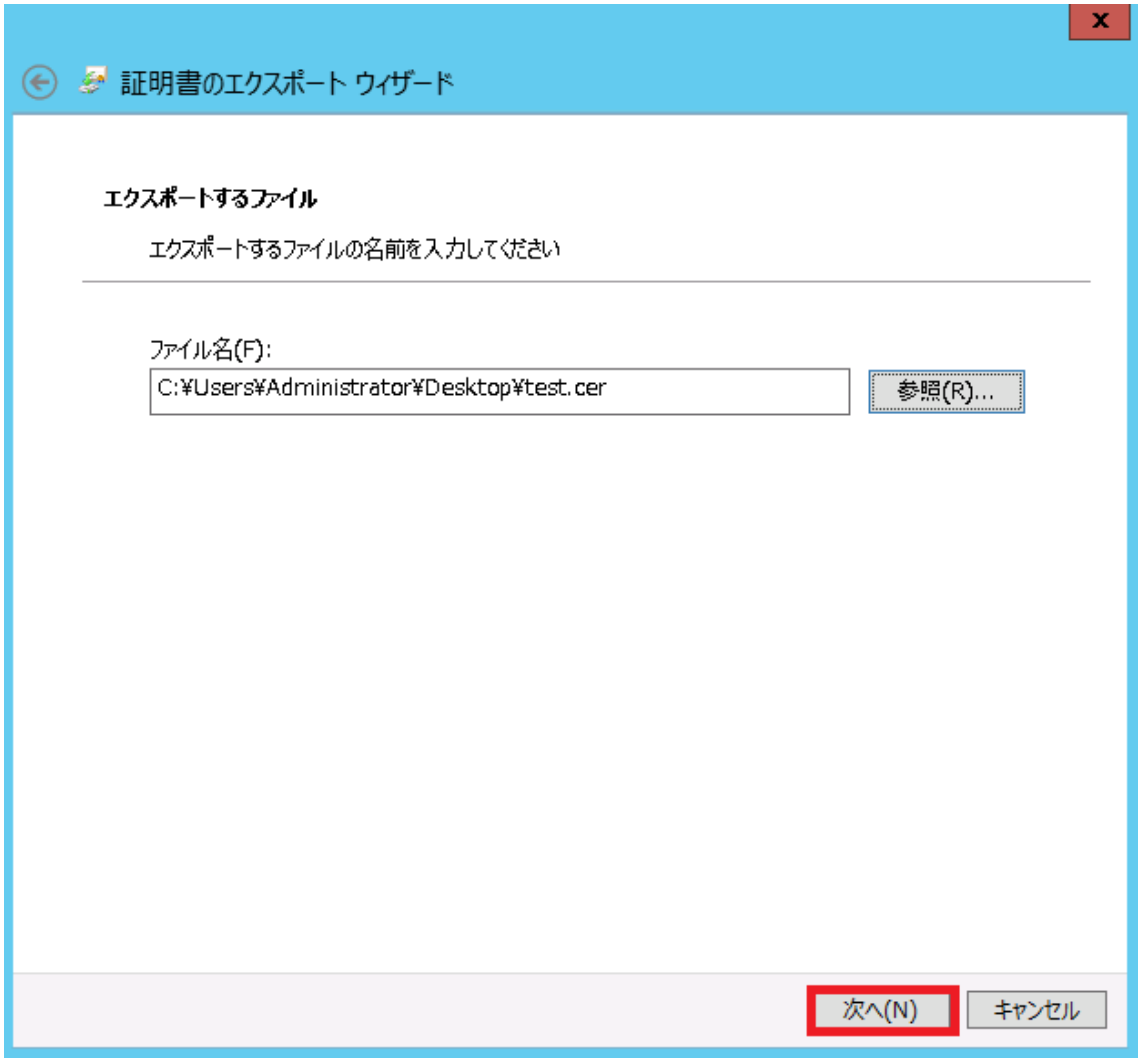
「次へ」をクリックします。



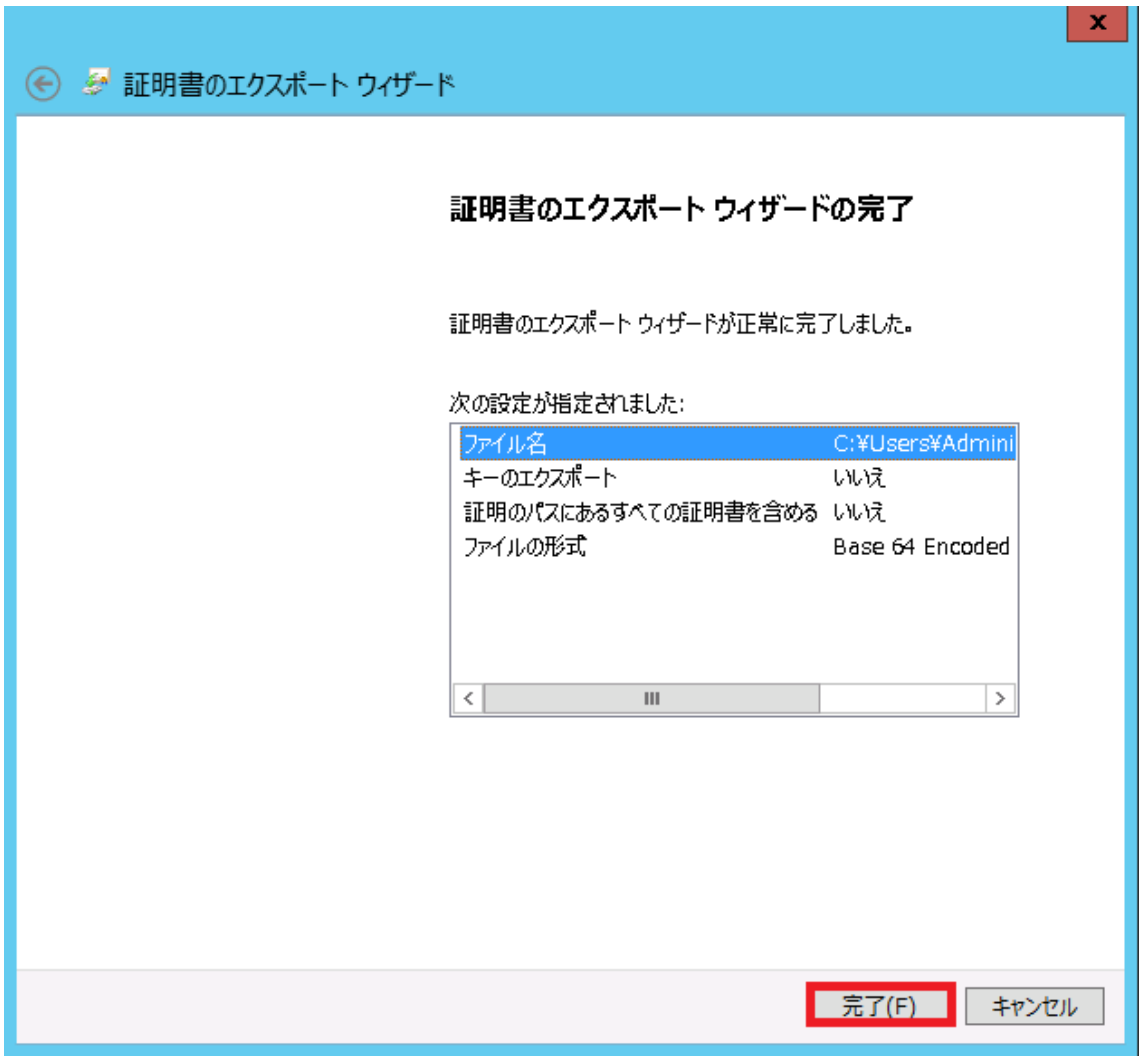
「いいえ、秘密キーをエクスポートしません」がチェックされていることを確認し、「次へ」をクリックします。



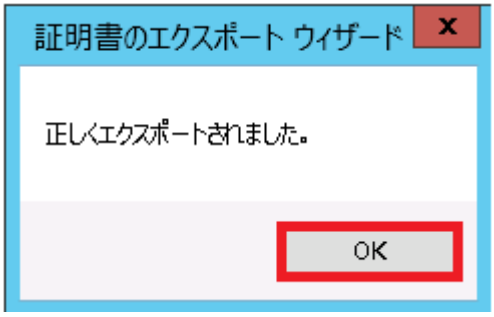
「Base 64 encoded X.509(.CER)」を選択し、「次へ」をクリックします。



「ファイル名」を入力し、「次へ」をクリックします。
※ファイル名はなんでも構いません。



「完了」をクリックします。



「OK」をクリックします。

参考:証明書の内容